

**仙台市下水道サービスに対する
市民満足度調査
報告書**

令和2年10月

仙台市建設局 経営企画課

目 次

1. 調査概要	-----	1
2. 回答者の属性	-----	3
3. 調査結果	-----	4
問 1	「仙台市下水道の状況や取組みへの関心度」	----- 4
問 2	「老朽化対策の取組みの優先度」	----- 6
問 3	「地震・津波対策の取組みの優先度」	----- 7
問 4	「大雨による浸水で困った経験の有無」	----- 8
問 5	「浸水対策の取組みの優先度」	----- 10
問 6	「浸水被害を軽減する支援策の認知度」	----- 12
問 7	「浸水被害を軽減する取組みの優先度」	----- 16
問 8	「水環境の保全の取組みの優先度」	----- 19
問 9	「地球環境の保全の取組みの優先度」	----- 20
問 10	「各家庭における下水道使用料の金額の認知度」	----- 21
問 10-2	「下水道使用料の妥当性」	----- 23
問 10-3	「下水道使用料が高いと感じる理由」	----- 24
問 11	「仙台市下水道からの知りたい情報」	----- 25
問 12	「希望する仙台市下水道の情報発信方法」	----- 27
問 13	「仙台市下水道のPR活動の認知度」	----- 29
問 14	「仙台市下水道の取組みの優先度」	----- 31
問 15	「仙台市下水道全般への満足度」	----- 33

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本市下水道サービスに対する市民の関心度や満足度を調査し、その結果をサービスの改善や広報・広聴活動の充実などに生かすことにより、下水道事業に対する市民からの信頼及び満足度の向上を図るとともに、今後の下水道事業の方向性等を検討する際の参考とする。

(2) 調査対象者

- ・仙台市内に居住している18歳以上の男女 3,000人
- ・無作為抽出による

(3) 回収状況

- ・回収率 57.2% (1,716票)

回収率の内訳① (年齢別)

年齢別	回答者数 (①)	アンケート 配布数(②)	回収率 (=①/②×100)
29歳以下	161	469	34.3%
30歳代	211	448	47.1%
40歳代	287	528	54.4%
50歳代	271	477	56.8%
60歳代	292	420	69.5%
70歳以上	414	658	62.9%
無回答	80	-	-
計	1,716	3,000	57.2%

回収率の内訳② (居住区別)

居住区別	回答者数 (①)	アンケート 配布数(②)	回収率 (=①/②×100)
青葉区	432	825	52.4%
宮城野区	292	536	54.5%
若林区	209	386	54.1%
太白区	367	653	56.2%
泉区	334	600	55.7%
無回答	82	-	-
計	1,716	3,000	57.2%

(4) 調査方法

- ・無記名式の質問用紙によるアンケート調査 (郵送)

(5) 調査項目

- ・下水道の取組みに関する項目：14 問
- ・下水道の広報に関する項目：3 問
- ・回答者の属性に関する項目：2 問
- ・合計 19 問

(6) 調査実施期間

- ・令和2年6月5日（金）から6月30日（火）まで

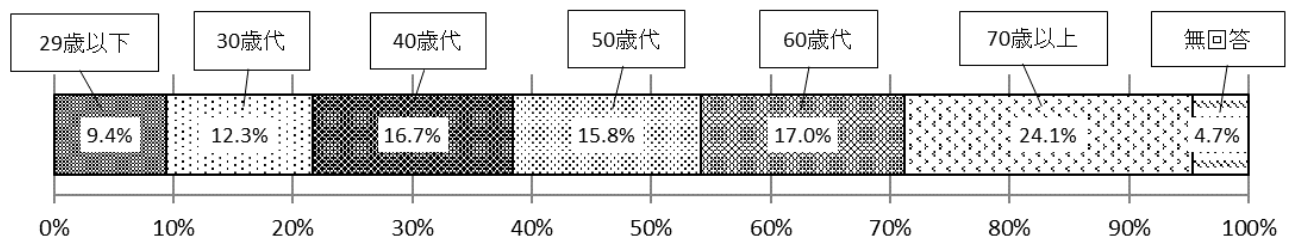
(7) 報告書の見方

- ・報告書中の「n」とは、その設問項目の回答数である。
- ・報告書中のグラフ等の単位は、「%」と表示していない場合は「人」である。
- ・%値は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しており、その合計が100.0%にならない場合がある。
- ・回答者が複数の回答をすることができる質問では、回答数の合計は回答者数を超える場合がある。

2. 回答者の属性

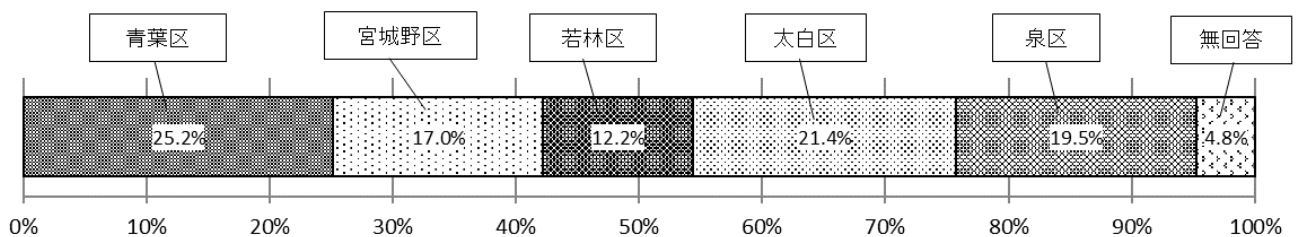
(1) 年齢 (n=1,716)

29歳以下	161人
30歳代	211人
40歳代	287人
50歳代	271人
60歳代	292人
70歳以上	414人
無回答	80人



(2) 居住区 (n=1,716)

青葉区	432人
宮城野区	292人
若林区	209人
太白区	367人
泉区	334人
無回答	82人



3. 調査結果

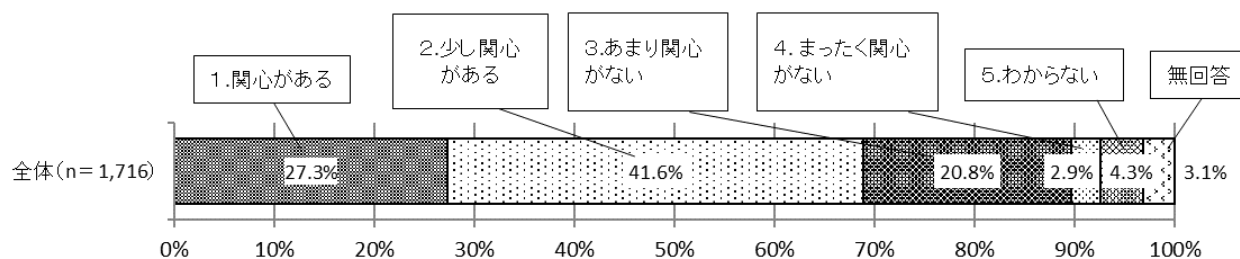
問 1

仙台市の下水道では、下の表に示す取組みを実施しています。あなたは、仙台市の下水道の状況や取組みに関心をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少し関心がある | 4. まったく関心がない |
| | 5. わからない |

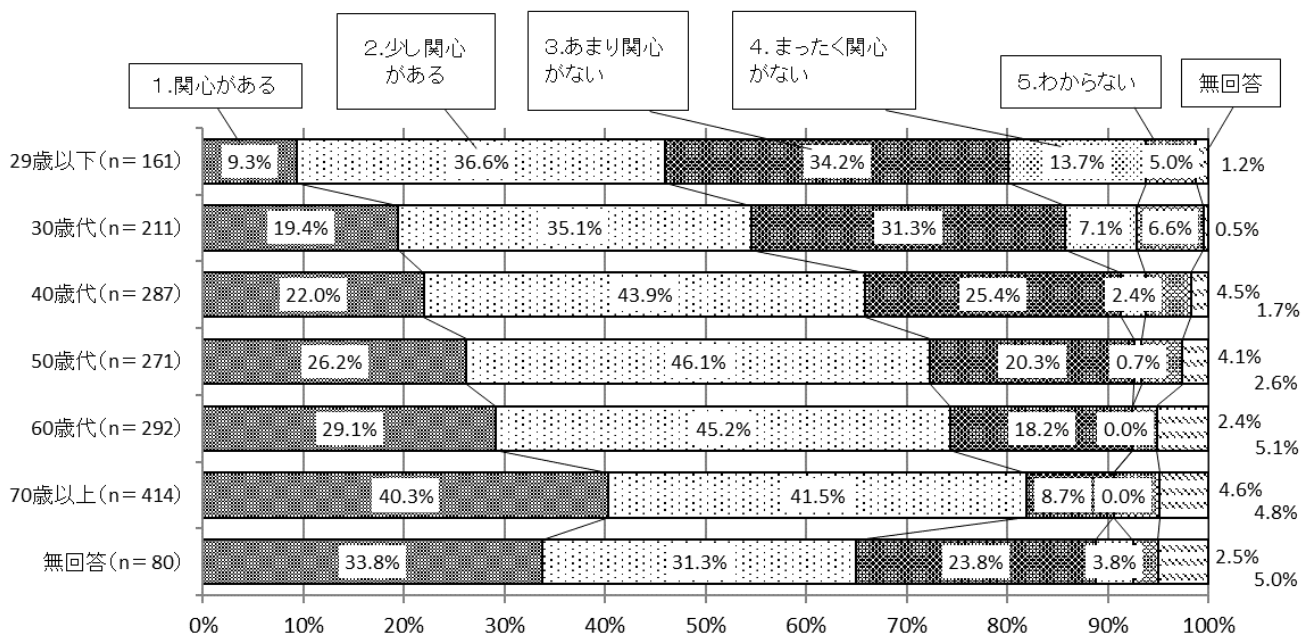
～仙台市下水道で実施している主な取組み～

主な取組み	取組内容
老朽化対策	古くなった下水道施設を計画的に修繕・更新する取組み
地震・津波対策	地震・津波に強い下水道施設に改良する取組み
浸水対策	雨による浸水被害を軽減する取組み
水環境の保全	下水を処理し、川や海の水質と景観を守る取組み
地球環境の保全	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献する取組み
健全な経営	業務改善などにより、安定的で効率的な経営を目指す取組み
広報・広聴	下水道情報をお知らせし、皆さまの声をサービスに生かす取組み
技術協力	国内外に対し防災・減災などに関する技術支援を行う取組み



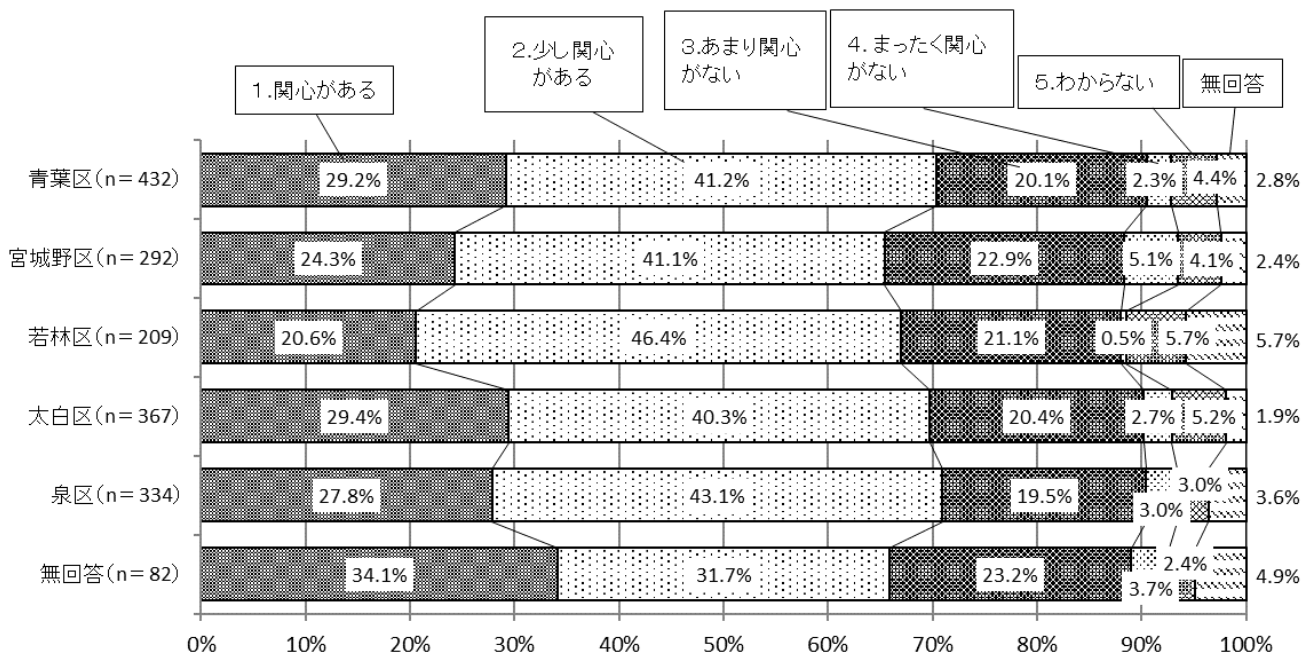
- 「関心がある」「少し関心がある」を回答した割合が68.9%となり、7割近くの方が関心の度合いが高い結果となりました。
- 「あまり関心がない」「まったく関心がない」と回答した割合は23.7%となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、仙台市の下水道の状況や取組みに、「関心がある」「少し関心がある」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 29歳以下、30歳代は、「わからない」を回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>



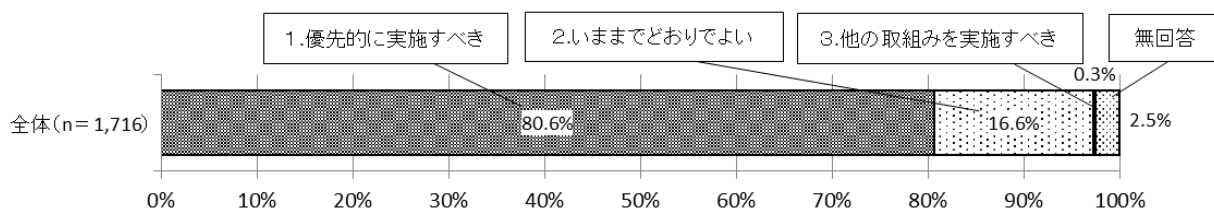
- 居住区別では、青葉区、太白区、泉区で、仙台市の下水道の状況や取組みに、「関心がある」「少し関心がある」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 2

仙台市では、整備後 50 年を経過する老朽管（下水道管の寿命は 50 年程度と考えられています。）が急速に増加していくと見込まれています。そのため、下水道管の破損に伴う道路陥没やポンプ場・浄化センターの設備の故障に伴う処理機能の低下などを防ぐため、古くなった下水道管や設備を計画的に更新しています。

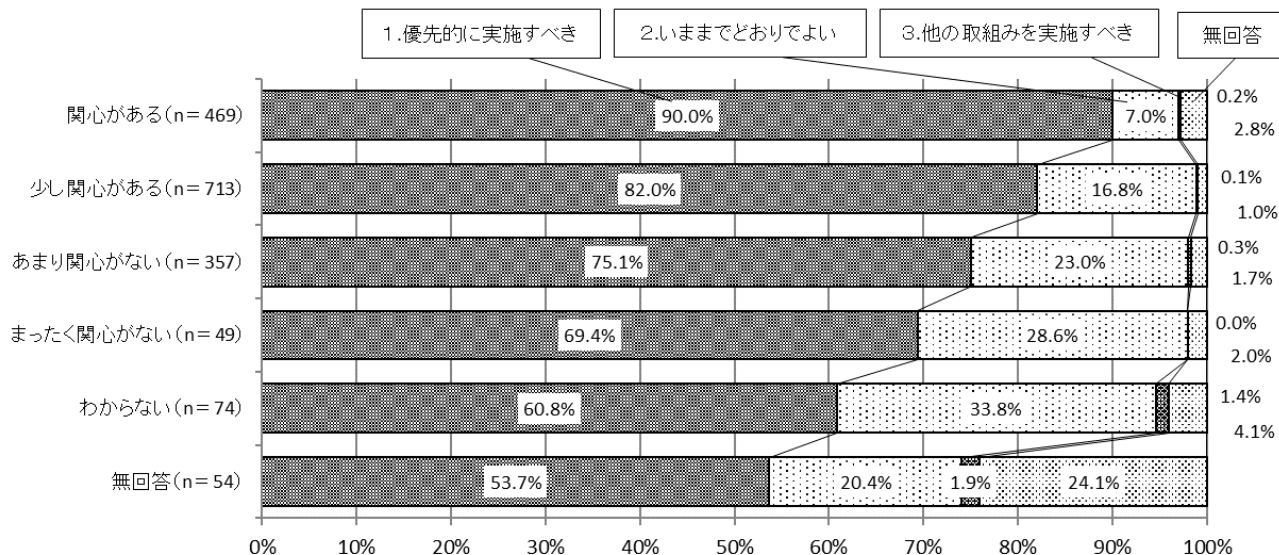
この取組みについて、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。（あてはまる番号 1 つに○）

1. 優先的に実施すべき 2. いままでどおりでよい 3. 他の取組みを実施すべき



- 老朽化対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が 80.6%となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



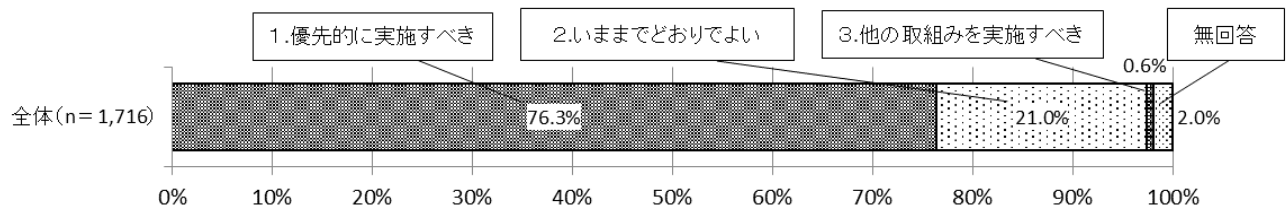
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、老朽化対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい結果となりました。

問3

仙台市では、現在使用している下水道管を生かしながら、管の中に新たな管を整備する更生工法こうせいを用いて下水道管の耐震化を進めています。また、大規模な下水道管が地震で被災した場合に備えて、バックアップ機能を備えた下水道管を整備するなどの地震対策を実施しています。

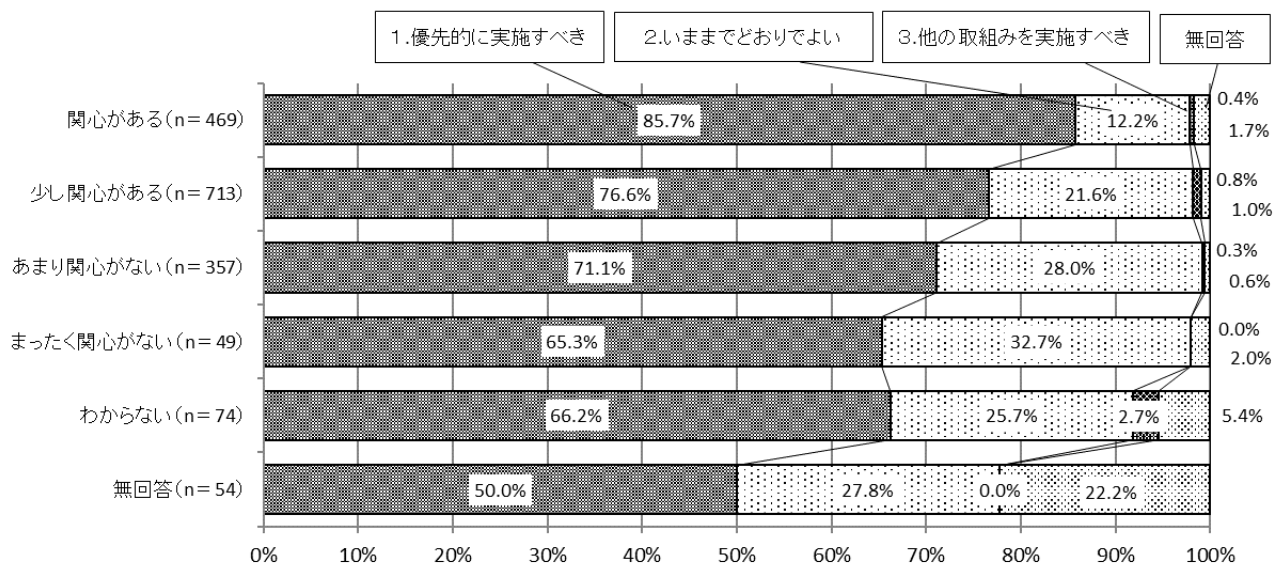
この取組みについて、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 優先的に実施すべき 2. いままでどおりでよい 3. 他の取組みを実施すべき



➤ 地震・津波対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が76.3%となりました。

<問1 関心の度合い別での集計>



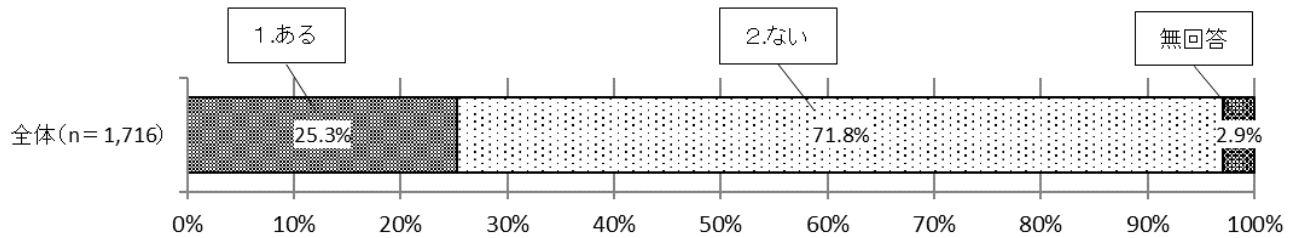
➤ 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、地震・津波対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 4

あなたは、大雨による浸水で困ったことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

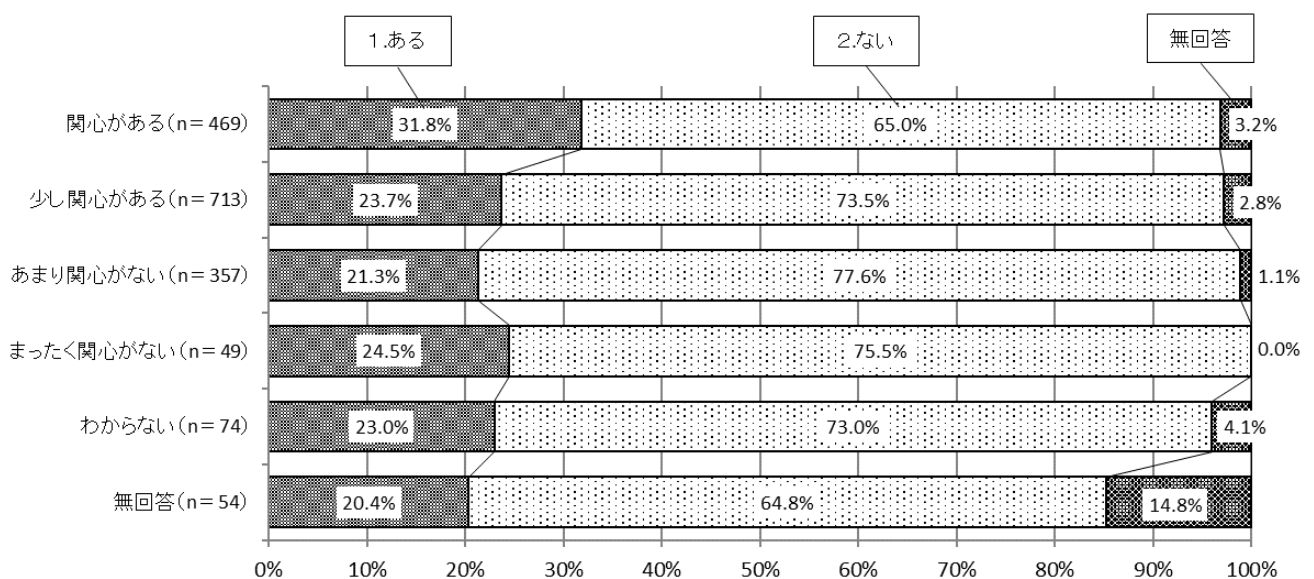
1. ある

2. ない



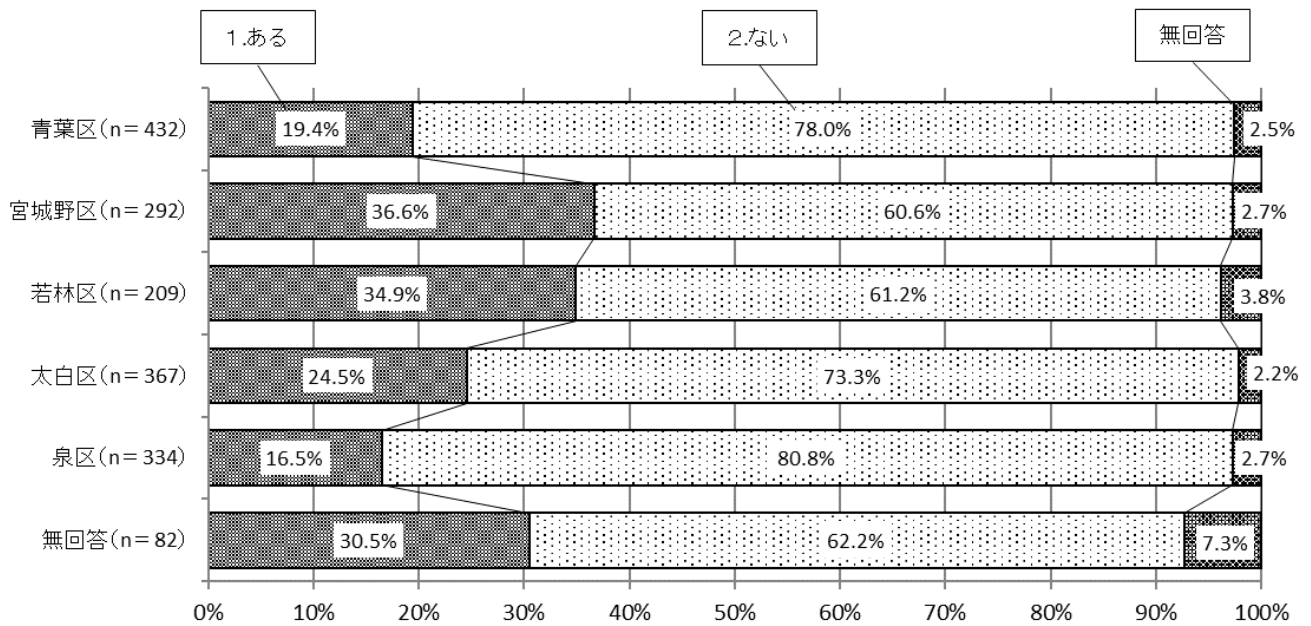
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が25.3%となりました。
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した方は434人に上り、前回アンケート(平成30年7月実施)の263人から増加しました。

<問1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>



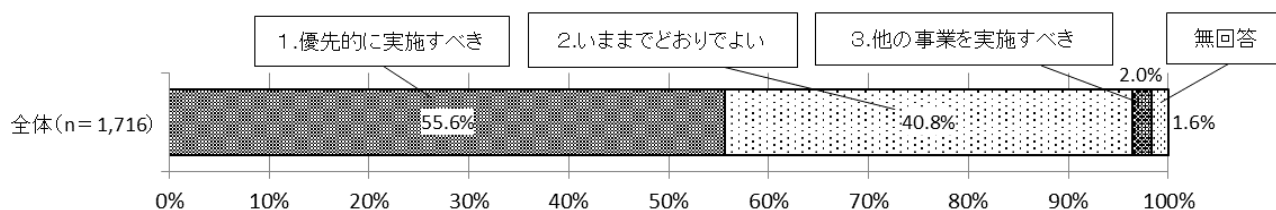
- 居住区別では、宮城野区、若林区で、大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 特に、宮城野区で、「ある」と回答した割合が36.6%となり、前回アンケートの24.2%から増加しました。

問5

下水道事業にかかる費用について、汚水処理（生活排水等の処理）は下水道使用料、雨水排水（浸水対策）にかかる費用は市税によって賄われています。雨水排水にかかる費用は予算が限られていることもあり、浸水対策の施設整備は十分に進められていません。

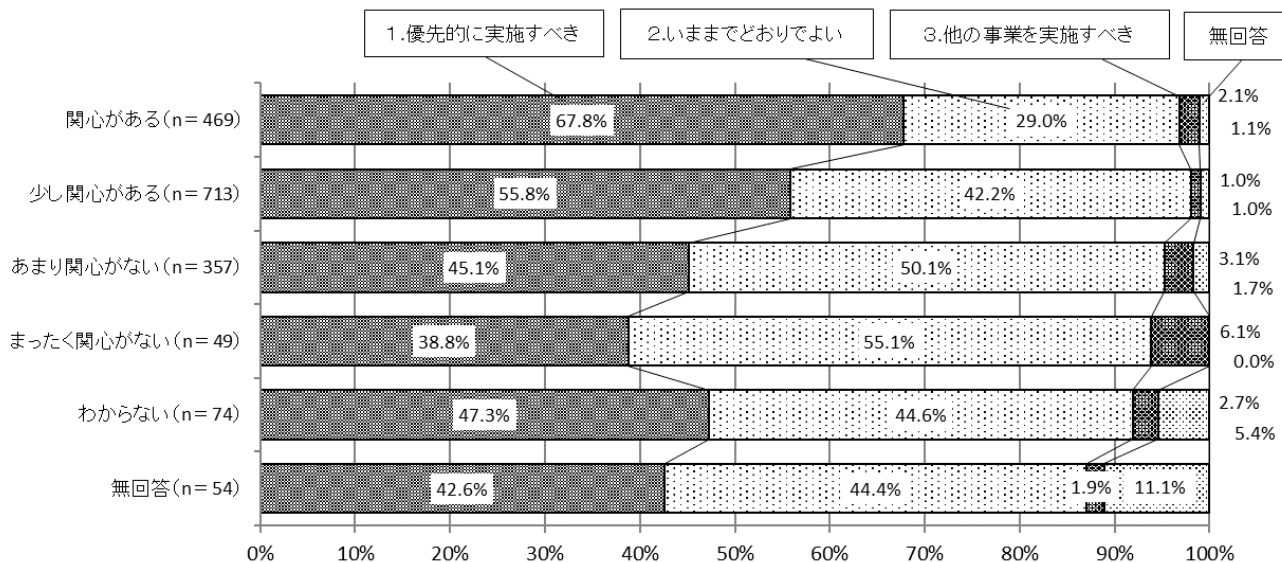
浸水対策の取組みについて、市税で賄われている仙台市の他の事業に優先して整備を行うべきかどうか、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 優先的に実施すべき 2. いままでどおりでよい 3. 他の事業を実施すべき



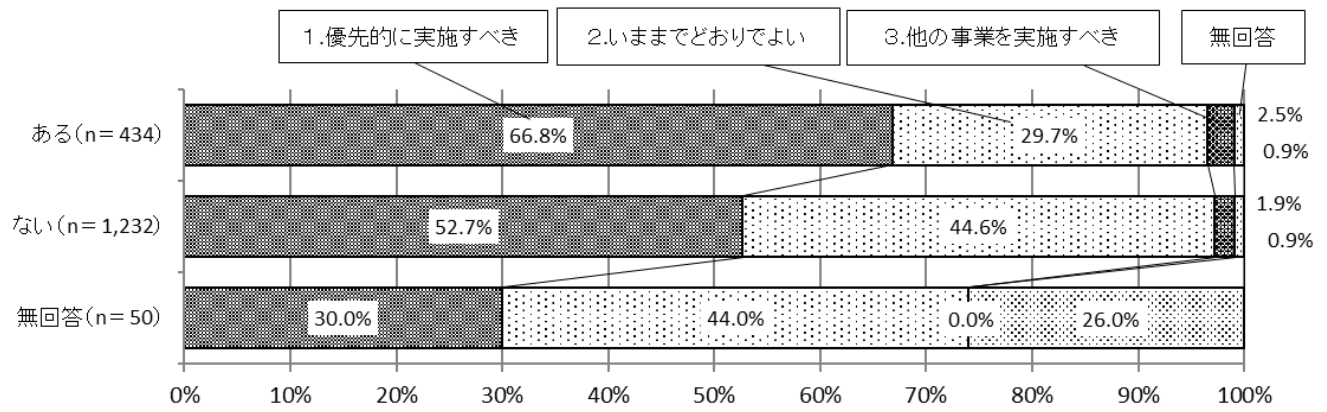
- 浸水対策を仙台市の他の事業よりも「優先的に実施すべき」と回答した割合が55.6%となりました。
- 一方で、「いままでどおりでよい」と回答した割合が40.8%となりました。

<問1 関心の度合い別での集計>



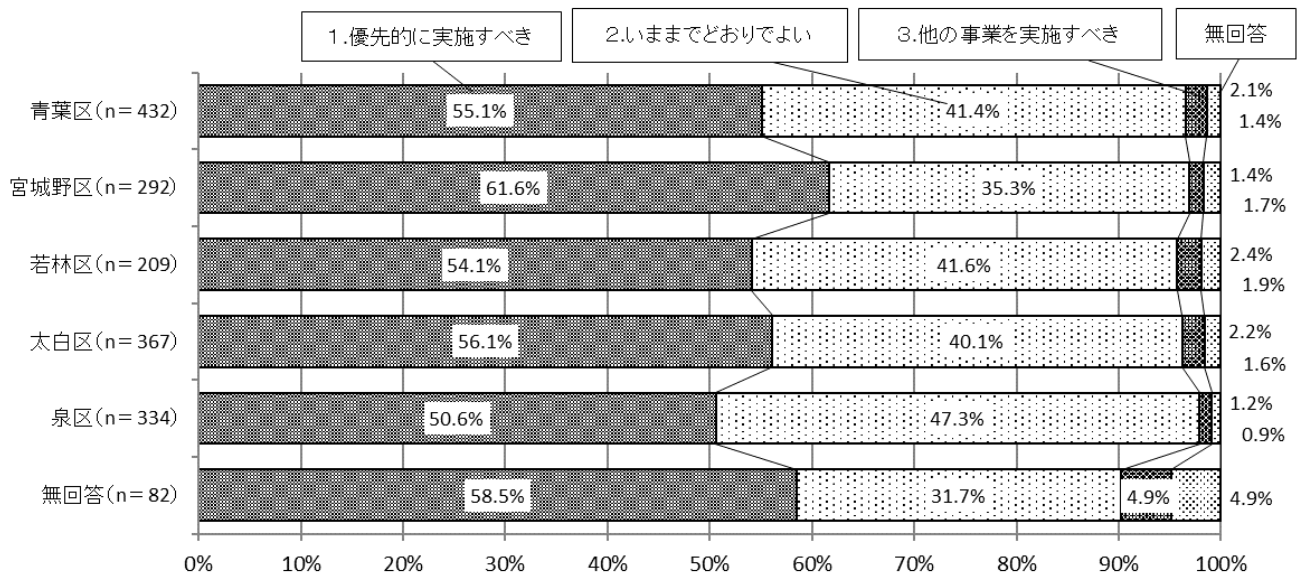
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、浸水対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい結果となりました。

<問4大雨による浸水で困ったことの有無での集計>



- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した方は、浸水対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>

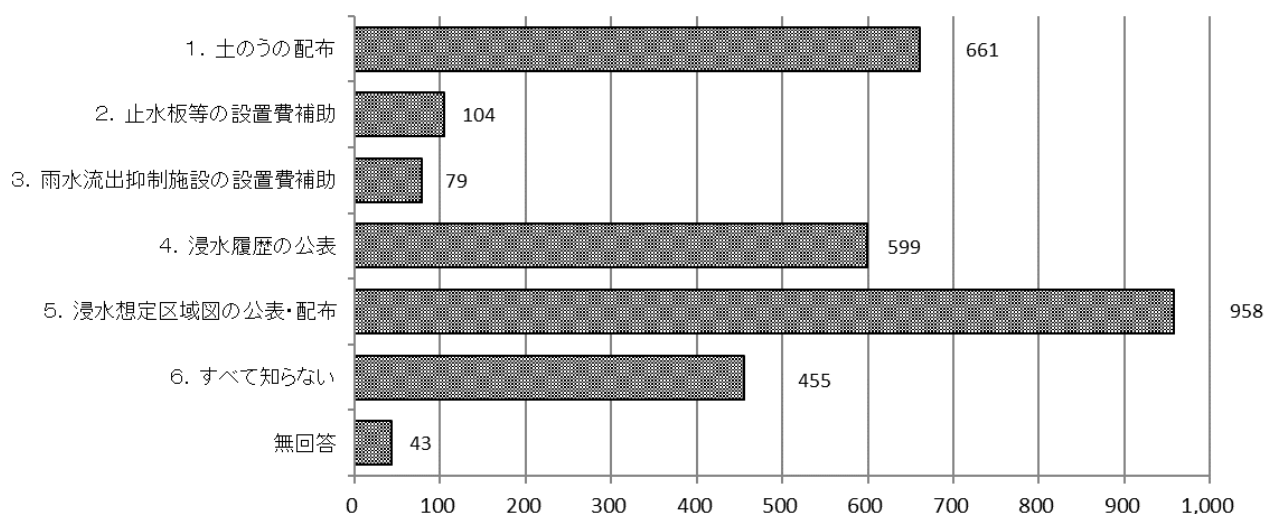


- 居住区別では、宮城野区で、浸水対策を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 6

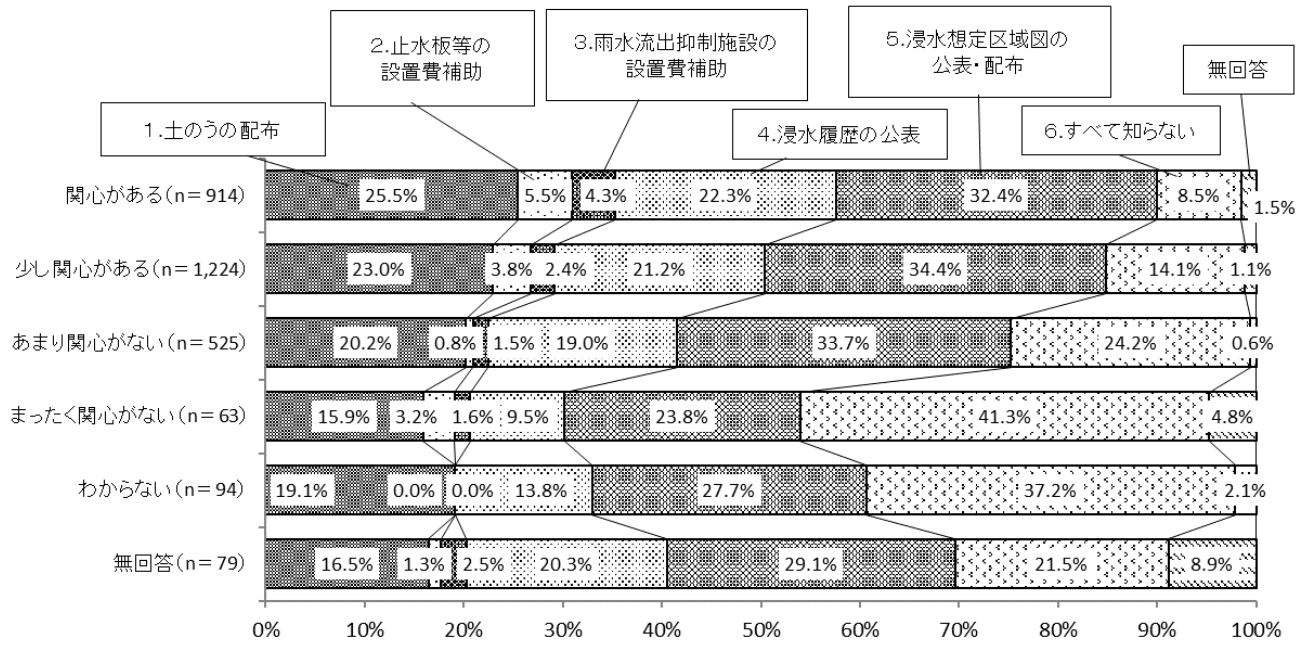
仙台市では、浸水被害を少しでも軽減するため、下の表にある市民の皆さま一人ひとりが取り組むことができる対策を支援しています。あなたは、これらの支援策をご存知でしたか。（あてはまる番号すべてに○）

番号	支援策	支援内容
1	土のうの配布	区役所などで10袋まで、土のう（土砂入りまたは袋のみ）を配布
2	止水板等の設置費補助	止水板（雨水の浸入を防ぐ板）等の設置費の一部を補助
3	雨水流出抑制施設の設置費補助	雨水の浸透ますや貯留タンクの設置費の一部を補助
4	浸水履歴の公表	過去に浸水があった地区を仙台市ホームページで公表
5	浸水想定区域図の公表・配布	浸水が予想される地区の地図（内水ハザードマップ）を仙台市ホームページで公表・区役所などで配布
6	すべて知らない	—



- 浸水被害軽減対策の中で最も認知度が高かったものは「浸水想定区域図の公表・配布」となり、「土のうの配布」「浸水履歴の公表」が次ぐ結果となりました。
- 「すべて知らない」と回答した割合は26.5%となり、前回アンケートの40.0%から減少しました。

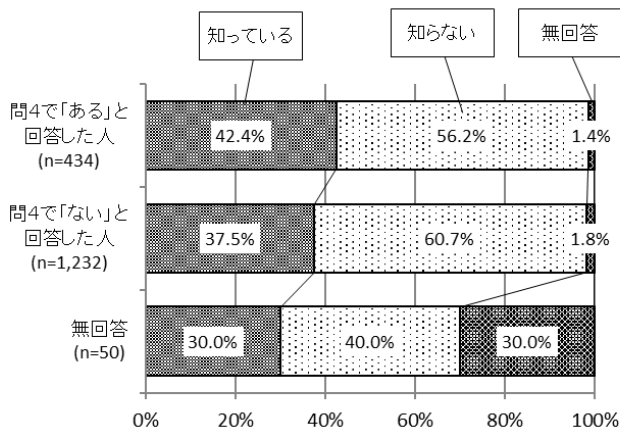
<問1 関心の度合い別での集計>



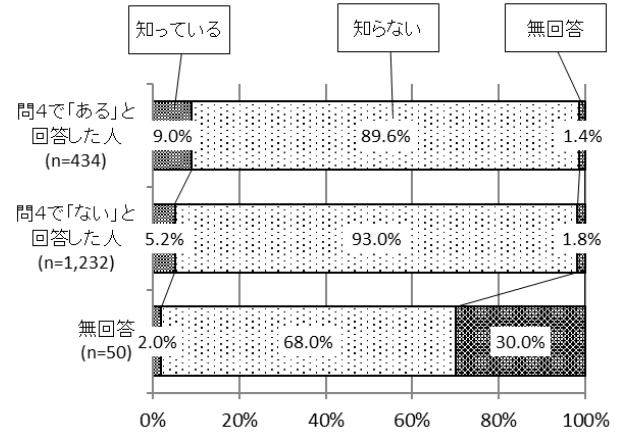
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「土のうの配布」「浸水履歴の公表」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「すべて知らない」を回答した割合が大きい結果となりました。

<問4 大雨による浸水で困ったことの有無での集計>

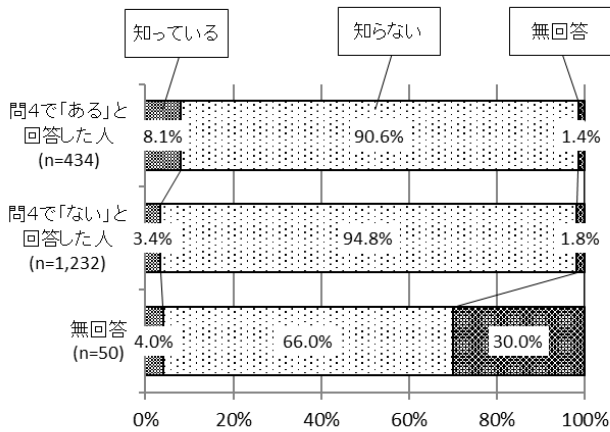
1.土のうの配布



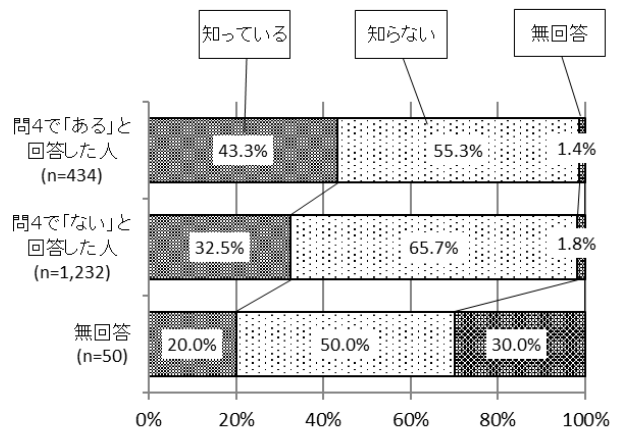
2.止水板等の設置費補助



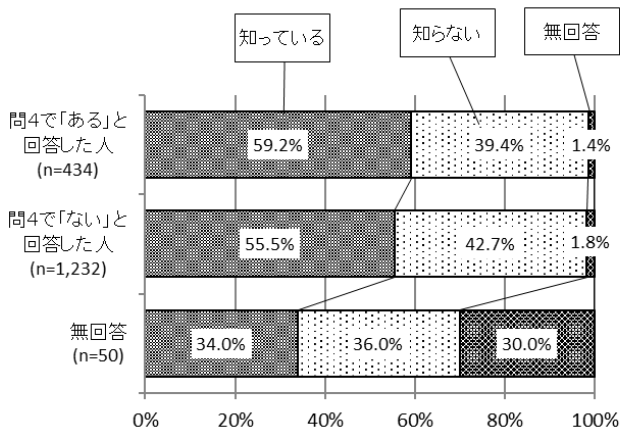
3.雨水流出抑制施設の設置費補助



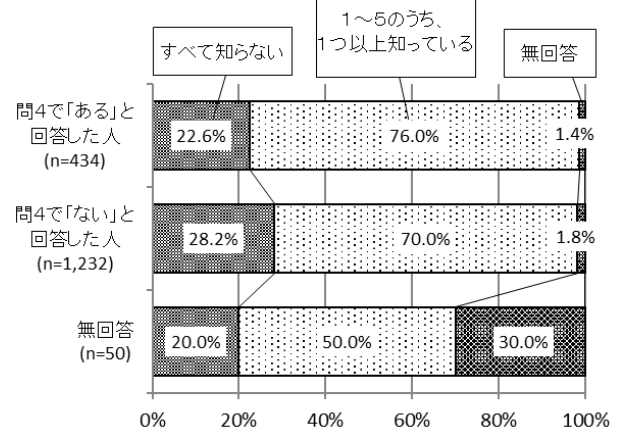
4.浸水履歴の公表



5.浸水想定区域図の公表・配布

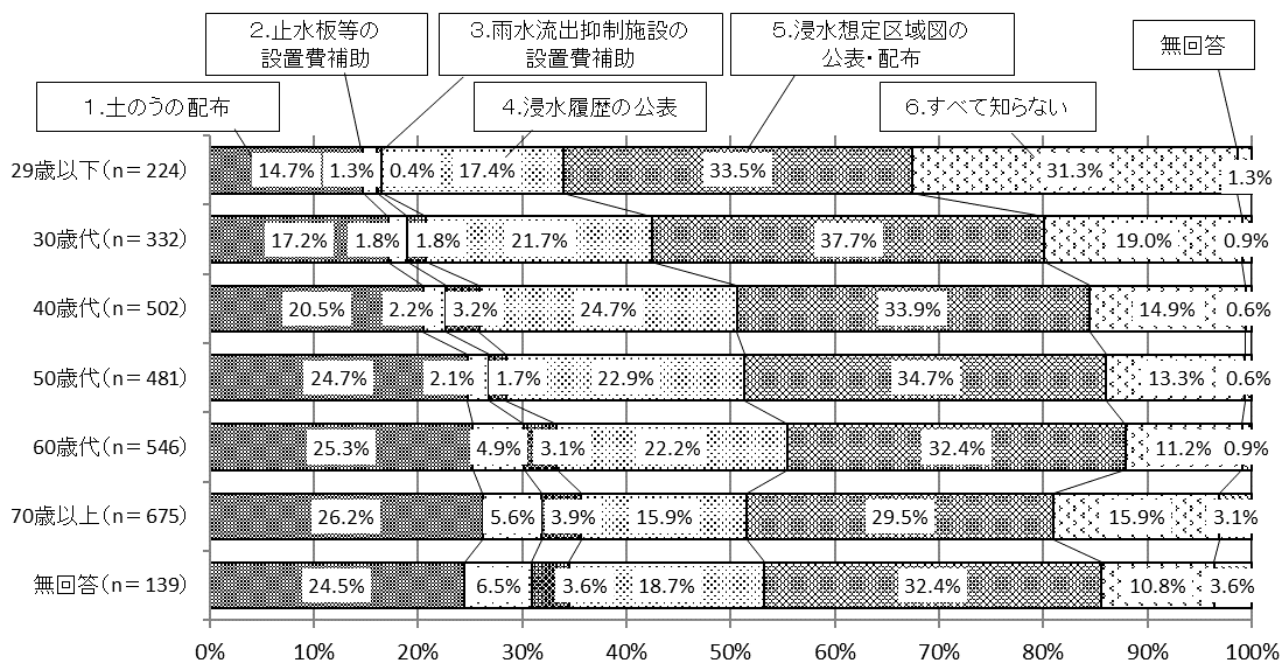


6.すべて知らない



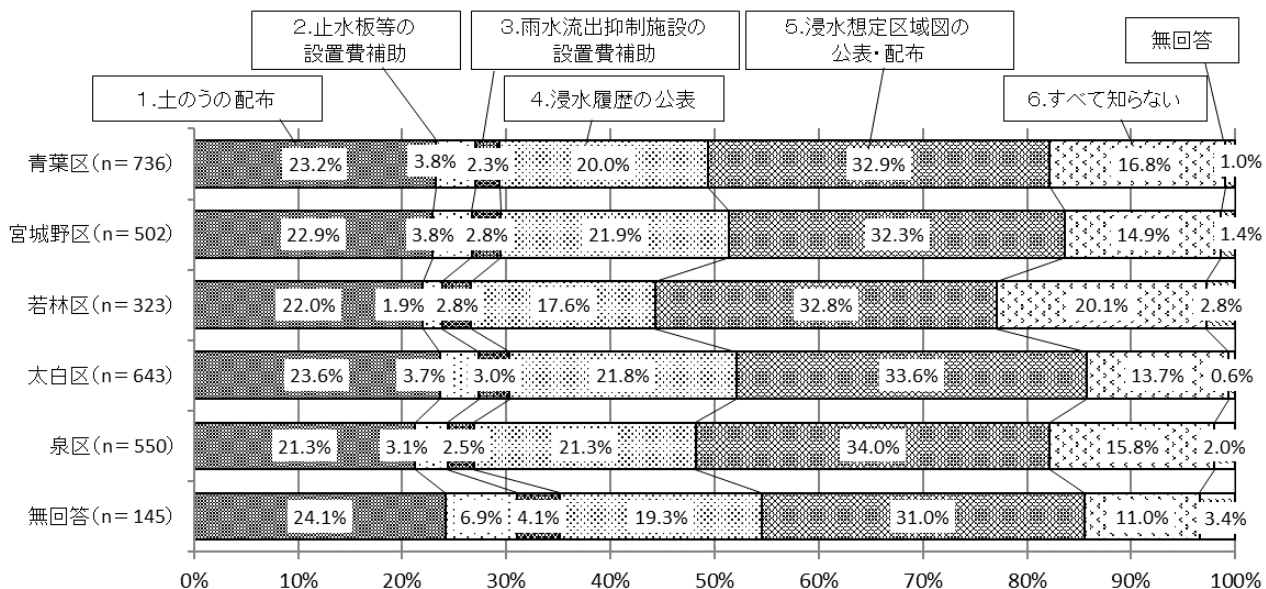
- 大雨による浸水で困ったことがあると回答した方は、5つの支援策のそれぞれで「知っている」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 大雨による浸水で困ったことがあると回答した方のうち、「すべて知らない」を回答した割合は22.6%となり、前回アンケートの39.9%から減少しました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、「土のうの配布」「止水板等の設置費補助」「雨水流出抑制施設の設置費補助」を知っていると回答した割合が大きい結果となりました。
- 年代が低くなるほど、「すべて知らない」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>

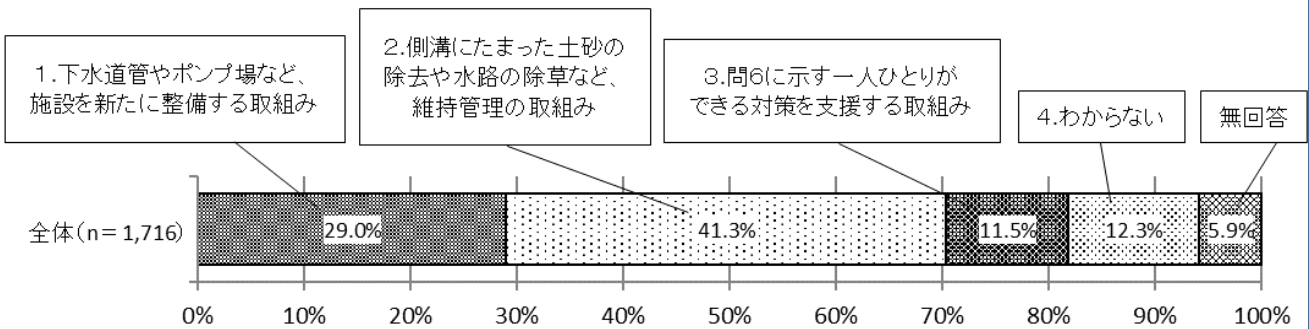


- 居住区別では、若林区で、「すべて知らない」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 7

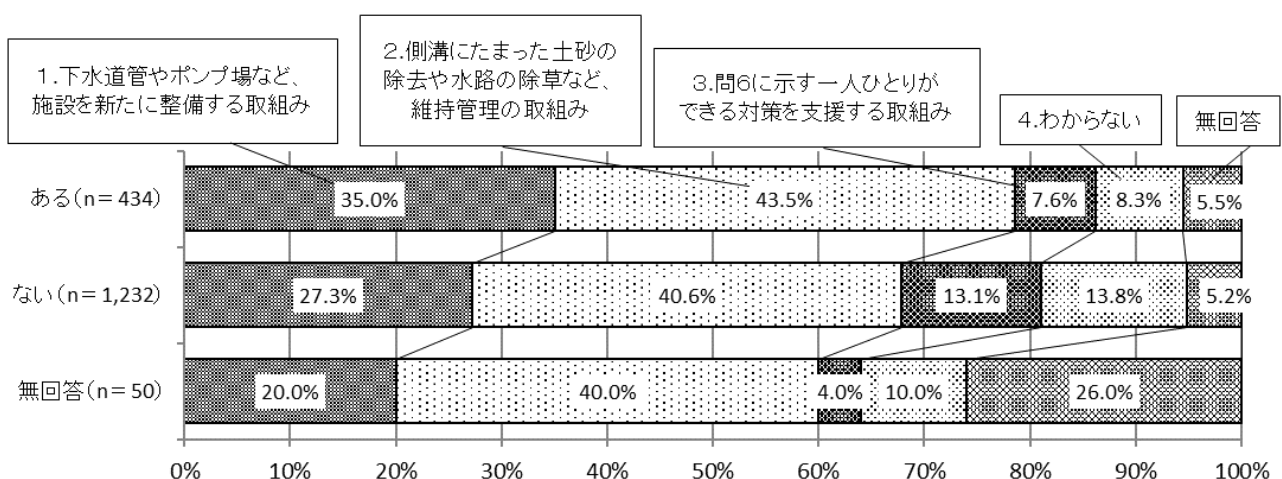
仙台市では、浸水被害を軽減するための取組みを行っています。あなたは、どの取組みを重点的に実施すべきと考えますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み
2. 側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み
3. 問6に示す一人ひとりができる対策を支援する取組み
4. わからない



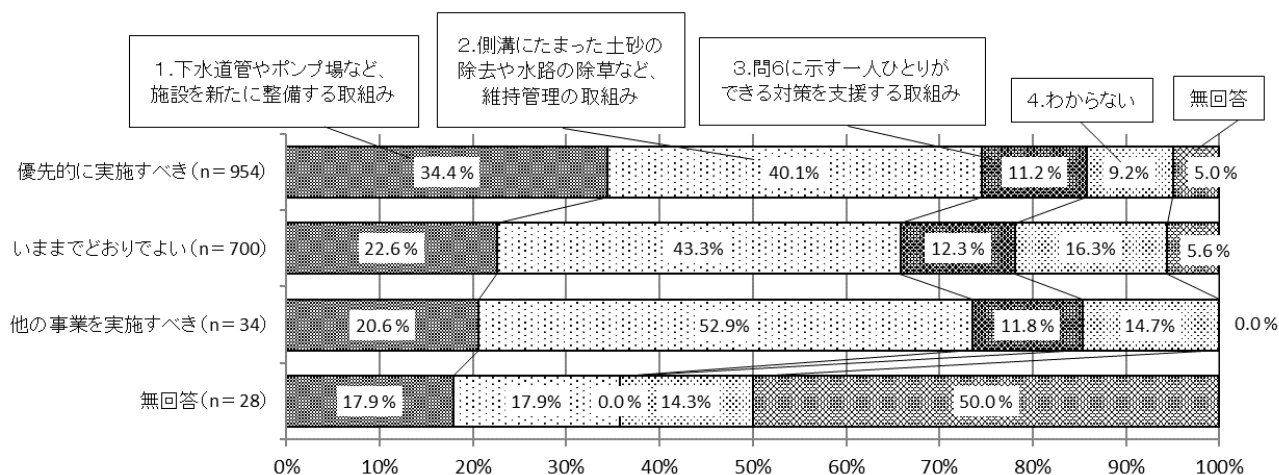
- 浸水被害軽減のために、重点的に実施すべき取組みを「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」と回答した割合が41.3%となりました。
- 「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」と回答した割合は前回アンケートの45.1%から41.3%に減少し、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」と回答した割合は21.1%から29.0%に増加しました。

<問4大雨による浸水で困ったことの有無での集計>



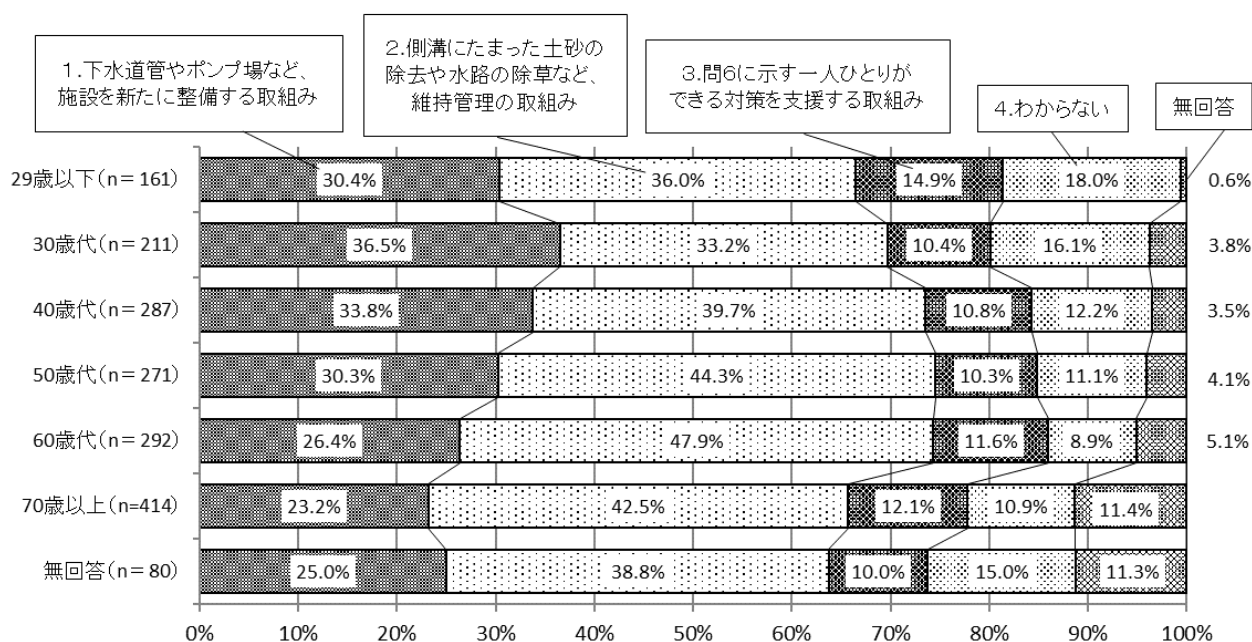
- 大雨による浸水で困ったことが「ある」と回答した方は、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」を回答した割合が大きい結果となりました。

<問5 浸水対策事業の優先の度合い別での集計>



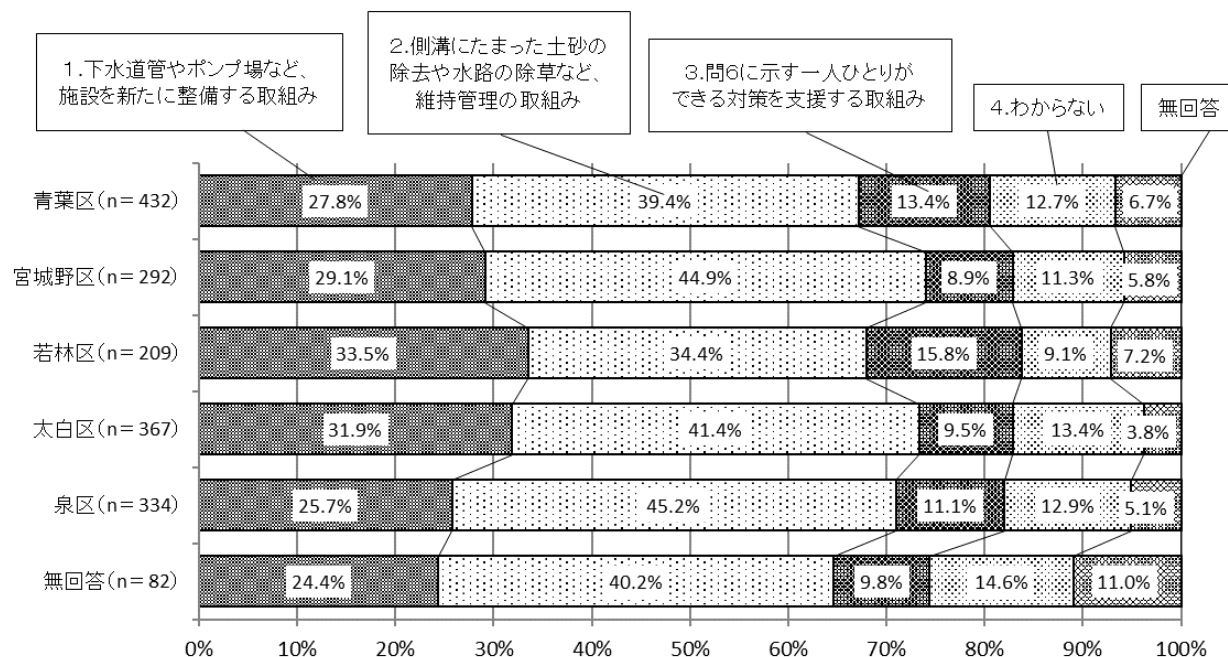
- 浸水対策を「優先的に実施すべき」と回答した方は、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」を回答した割合が大きい結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、30歳代以上で、年代が高くなるほど、「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」を回答した割合が小さく、「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」を回答した割合が大きい傾向となりました。
- 年代が低くなるほど、「わからない」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>



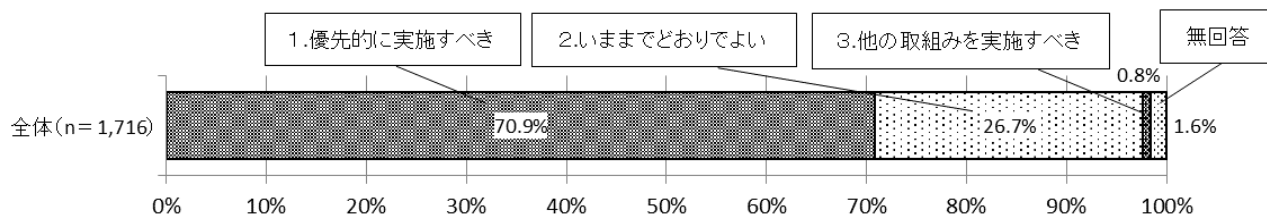
- 居住区別では、若林区、太白区で「下水道管やポンプ場など、施設を新たに整備する取組み」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 宮城野区、泉区で「側溝にたまった土砂の除去や水路の除草など、維持管理の取組み」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 青葉区、若林区で「問6に示す一人ひとりができる対策を支援する取組み」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 8

下水道管の老朽化や東日本大震災の影響などにより、汚水と雨水を別々の下水道管で流す方式（分流式下水道）で整備された地区では、汚水管のヒビなどから入り込む雨水（雨天時浸入水）の量が増加しています。これにより雨水で薄められた汚水がマンホールから溢れ、川や海などに流れることがあります。そのため、仙台市では、雨天時浸入水を減少させるための調査や対策工事などを実施しています。

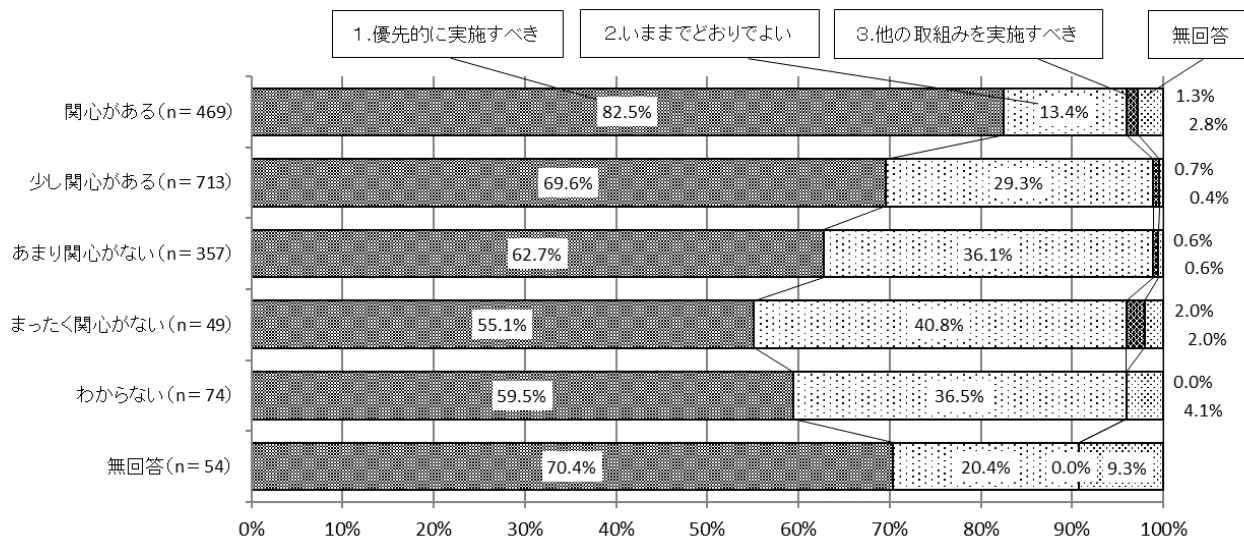
この取組みについて、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 優先的に実施すべき 2. いままでどおりでよい 3. 他の取組みを実施すべき



- 水環境の保全を「優先的に実施すべき」と回答した割合が70.9%となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



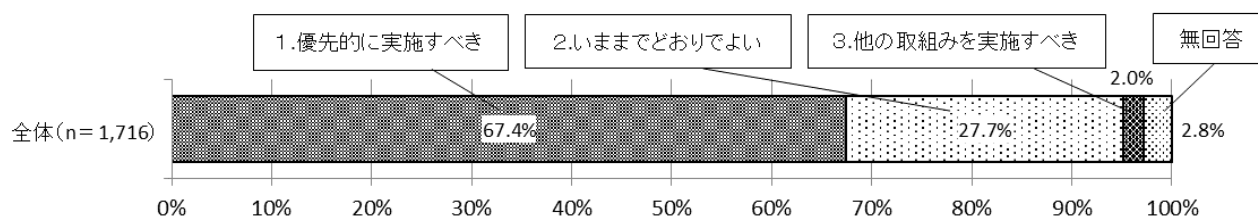
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、水環境の保全を「優先的に実施すべき」と回答した割合が大きい傾向となりました。

問 9

下水道施設の運用には多量のエネルギーが必要となるため、省エネルギー機器の導入や下水道が有する再生可能エネルギーの利活用が求められています。そのため、仙台市の南蒲生浄化センターでは、下水汚泥をバイオマス資源として活用する消化ガス発電の導入を検討しています。これらの設備を導入することで、エネルギー使用量の抑制と下水汚泥や温室効果ガス（二酸化炭素など）排出量の削減が見込まれます。

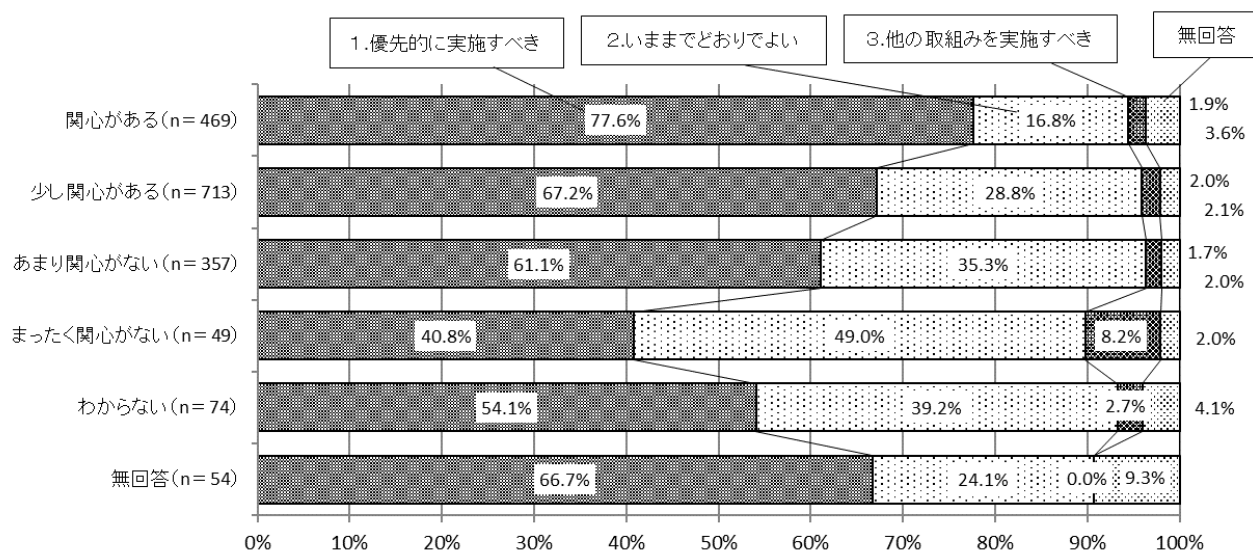
この取組みについて、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 優先的に実施すべき 2. いままでどおりでよい 3. 他の取組みを実施すべき



➤ 地球環境の保全を「優先的に実施すべき」と回答した割合が67.4%となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>

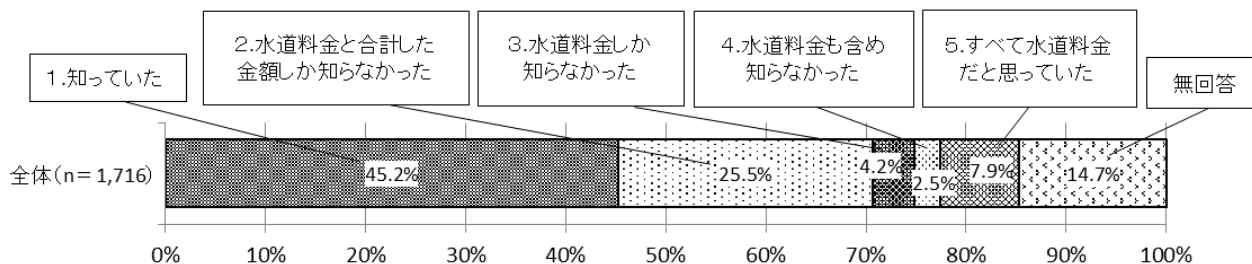


➤ 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、地球環境の保全を「優先的に実施すべき」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 10

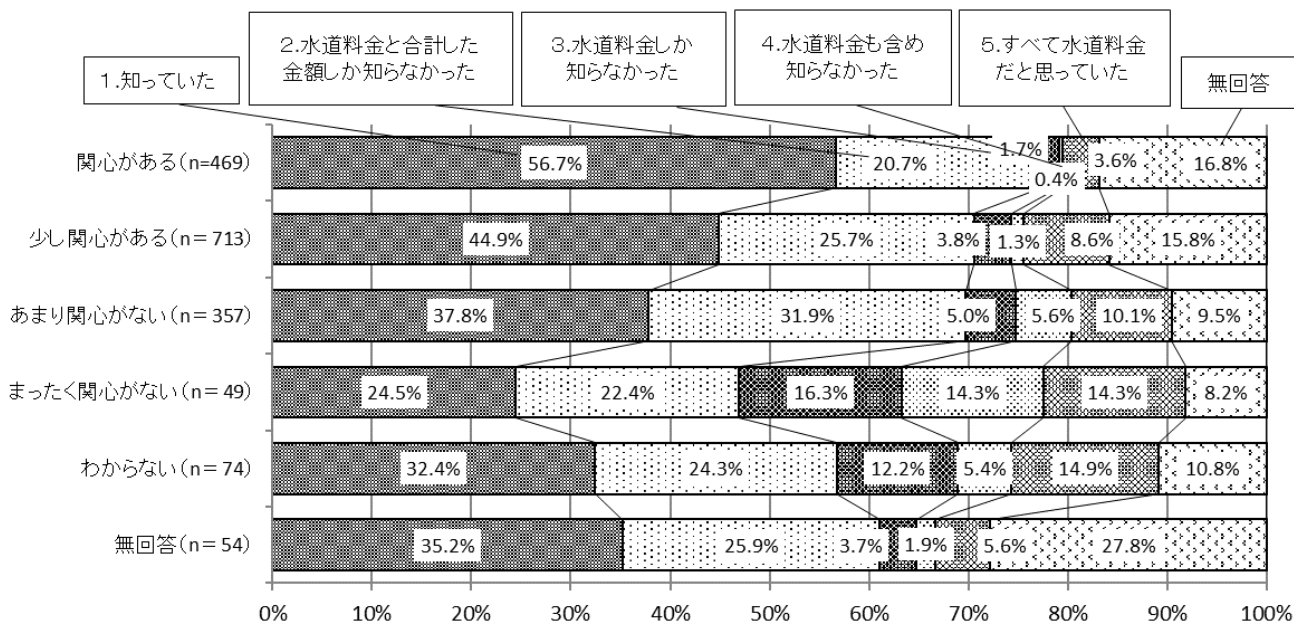
仙台市の下水道使用料は、原則として水道料金と一緒に支払っていただいています。あなたのご家庭の下水道使用料の金額をご存知でしたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 知っていた | 4. 水道料金も含め知らなかった |
| 2. 水道料金と合計した金額しか知らなかった | 5. すべて水道料金だと思っていた |
| 3. 水道料金しか知らなかった | |



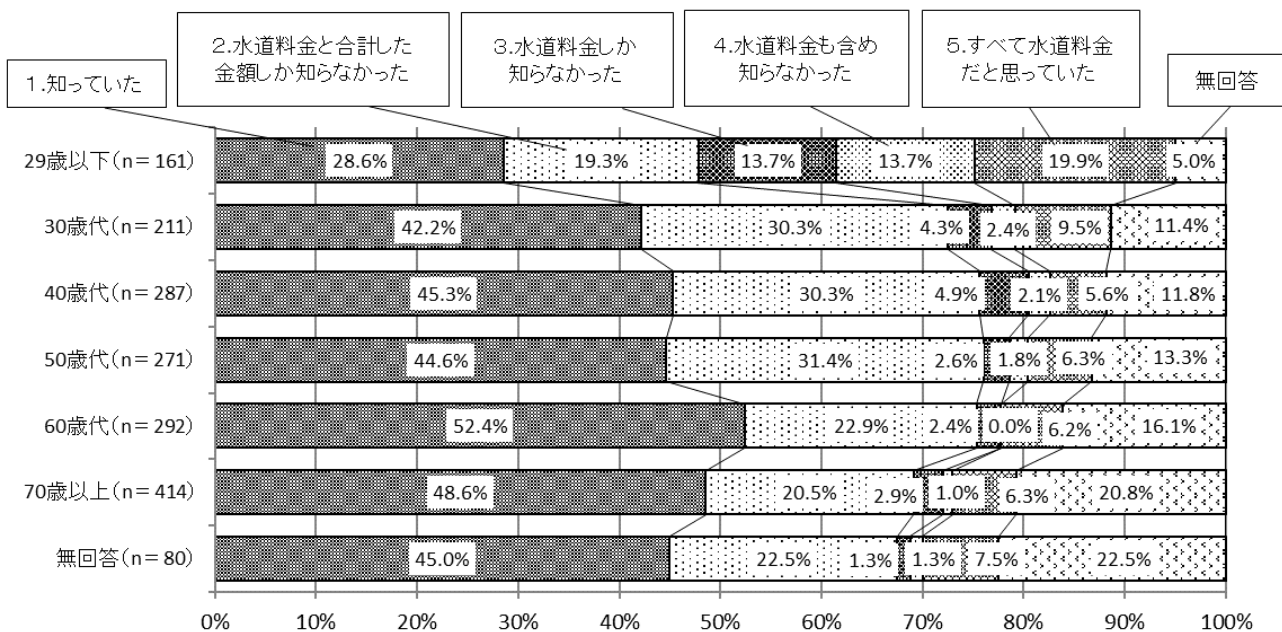
- ご家庭の下水道使用料を「知っていた」と回答した割合が 45.2%となりました。
- 一方で、「水道料金と合計した金額しか知らなかった」「水道料金しか知らなかった」「水道料金も含め知らなかった」「すべて水道料金だと思っていた」と回答した割合が 40.1%となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、ご家庭の下水道使用料の金額を「知っていた」と回答した割合が大きい結果となりました。

<年齢別での集計>



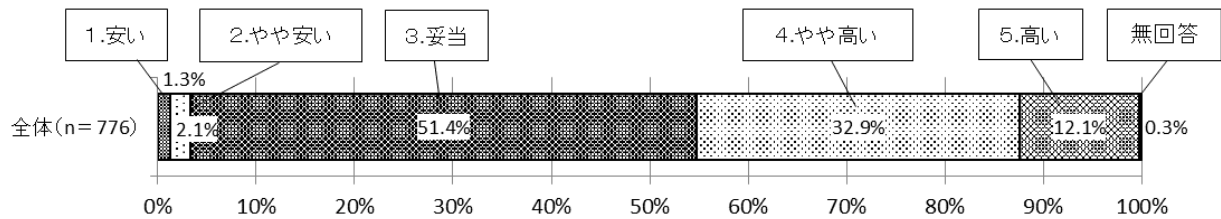
- 年齢別では、年代が高くなるほど、ご家庭の下水道使用料の金額を「知っていた」と回答した割合が大きい傾向となりました。
- 29歳以下は、「水道料金しか知らなかった」「水道料金も含め知らなかった」「すべて水道料金だと思っていた」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 10-2

(問 10 で)「知っていた」を選択した方のみお答えください。

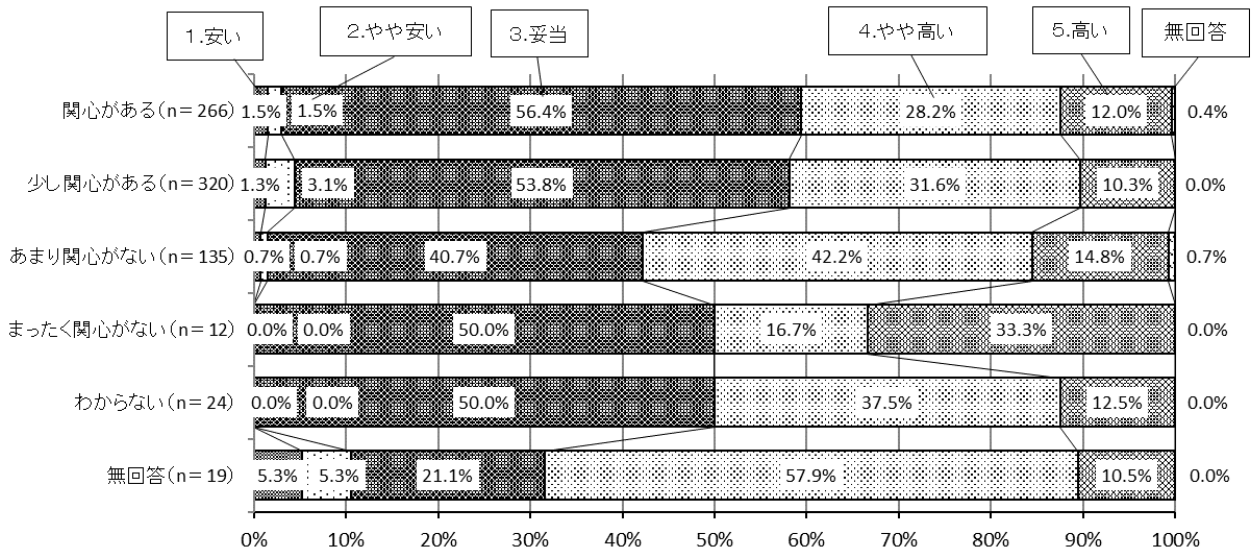
■あなたのご家庭の下水道使用料について、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 安い | 4. やや高い |
| 2. やや安い | 5. 高い |
| 3. 妥当 | |



- ▶ 下水道使用料の支払い金額が「妥当」と回答した割合が 51.4%となり、半数を超える結果となりました。
- ▶ 一方で、「やや高い」「高い」と回答した割合が 45.0%となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



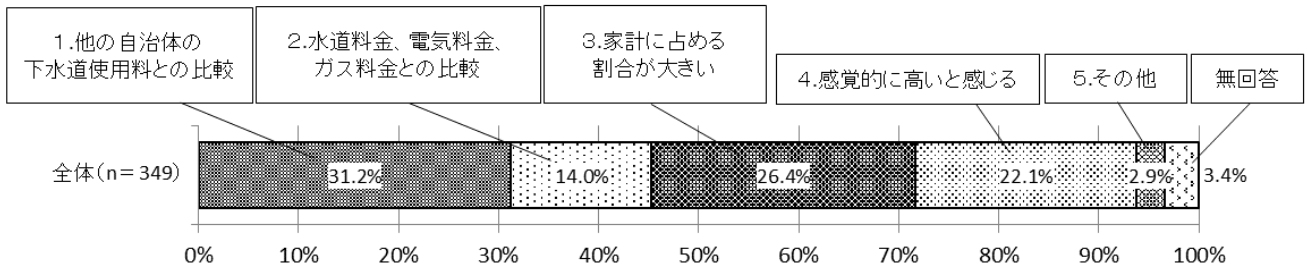
- ▶ 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、ご家庭の下水道使用料の金額を「妥当」と回答した割合が大きい傾向となりました。

問 10-3

(問 10-2 で)「やや高い」、「高い」を選択した方のみお答えください。

- 高いと思う理由について、あなたの考えにもっとも近いものを次のうちからお答えください。
(あてはまる番号 1 つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 他の自治体の下水道使用料との比較 | 4. 感覚的に高いと感じる |
| 2. 水道料金、電気料金、ガス料金との比較 | 5. その他 () |
| 3. 家計に占める割合が大きい | |

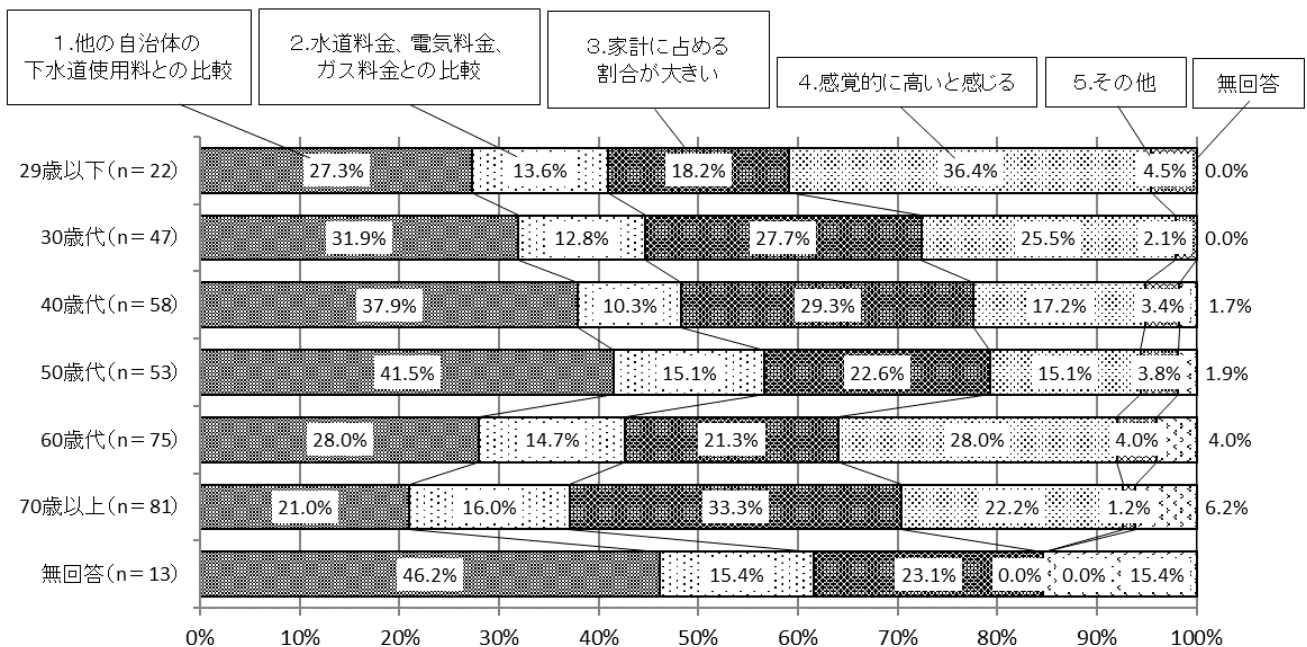


■ 「5. その他」を選択した方の具体的回答

下水道使用料の使途が不明、下水道サービスへの不満など

- 「他の自治体の下水道使用料との比較」でやや高い、高いと感じている割合が 31.2% となりました。

<年齢別での集計>

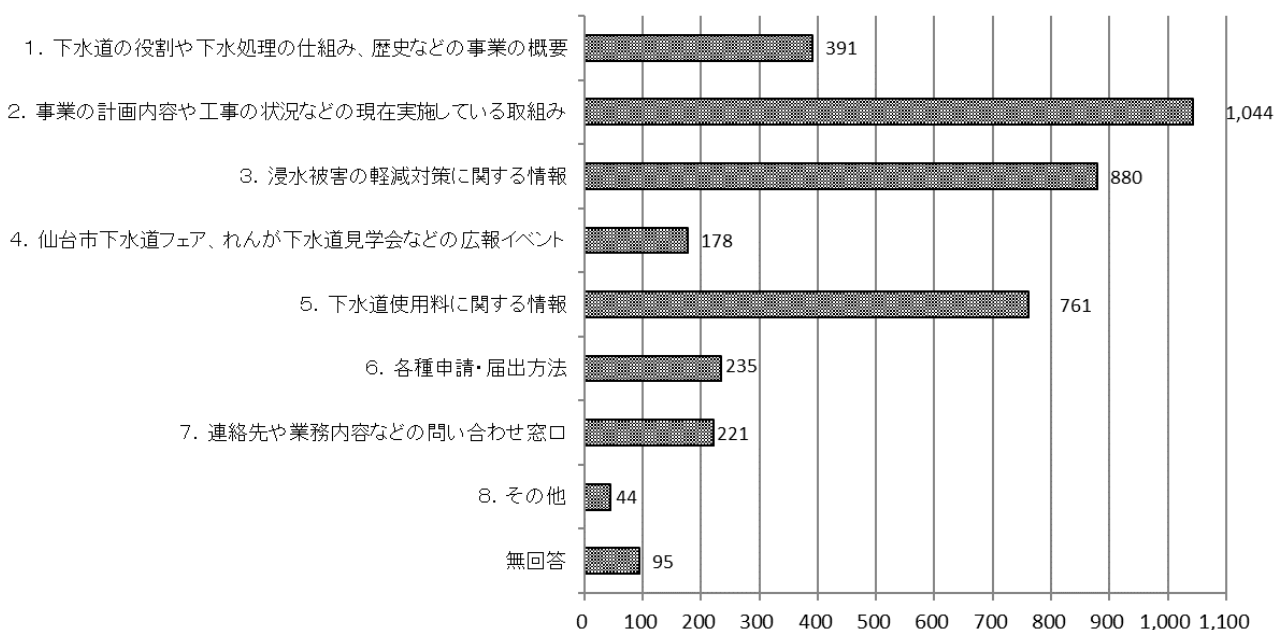


- 年齢別では、40～50歳代で、ご家庭の下水道使用料の金額が高いと思う理由を「他の自治体の下水道使用料との比較」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 70歳以上は、「家計に占める割合が大きい」と回答した割合が大きい結果となりました。
- 29歳以下は、「感覚的に高いと感じる」と回答した割合が大きい結果となりました。

問 11

あなたは、仙台市の下水道について、どのような情報を知らせてほしいですか。(あてはまる番号3つまでに○)

1. 下水道の役割や下水処理の仕組み、歴史などの事業の概要
2. 事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み
3. 浸水被害の軽減対策に関する情報
4. 仙台市下水道フェア、れんが下水道見学会などの広報イベント
5. 下水道使用料に関する情報
6. 各種申請・届出方法
7. 連絡先や業務内容などの問い合わせ窓口
8. その他 ()

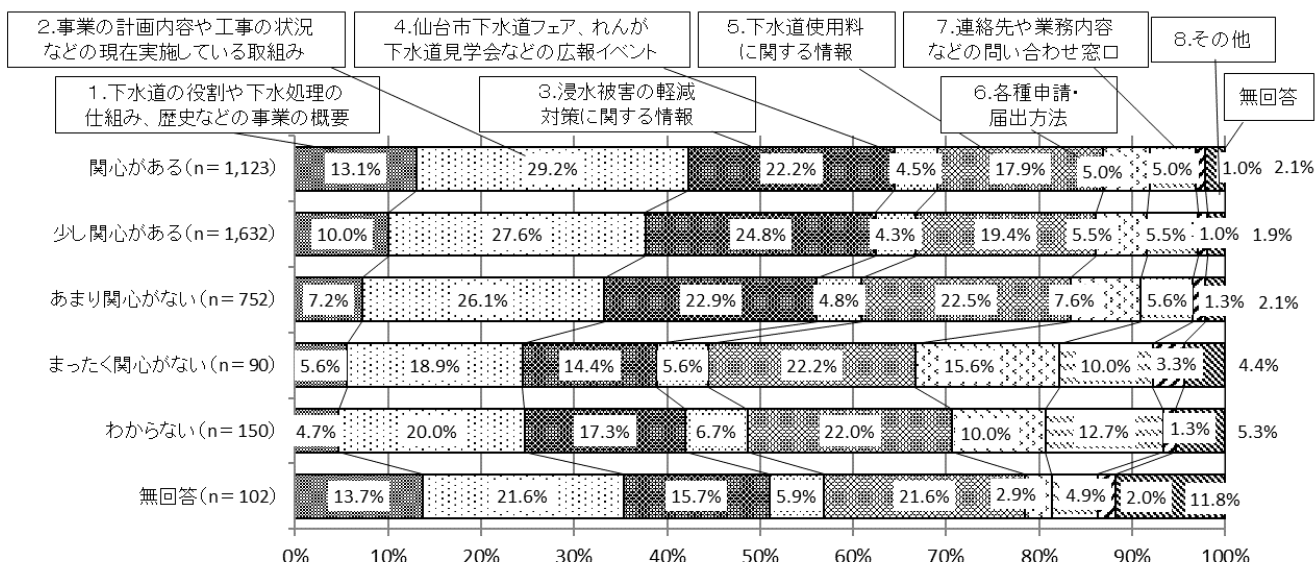


■ 「8. その他」を選択した方の具体的回答

災害時の対応計画や下水道施設の維持管理計画、経営状況等の経営全般に関することなど

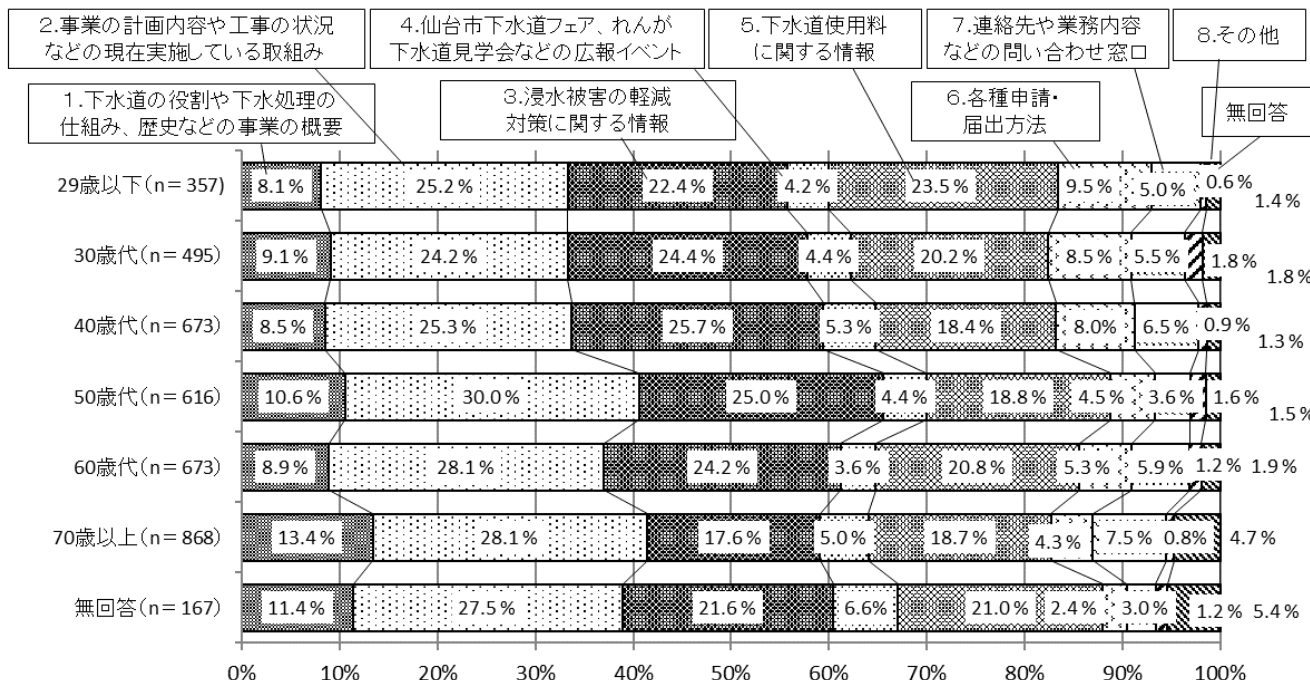
- 「事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み」に最も多くの回答が寄せられ、「浸水被害の軽減対策に関する情報」が次ぐ結果となりました。

<問1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「下水道の役割や下水処理の仕組み、歴史などの事業の概要」「事業の計画内容や工事の状況などの現在実施している取組み」「浸水被害の軽減対策に関する情報」を回答した割合が大きい傾向となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「下水道使用料に関する情報」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<年齢別での集計>

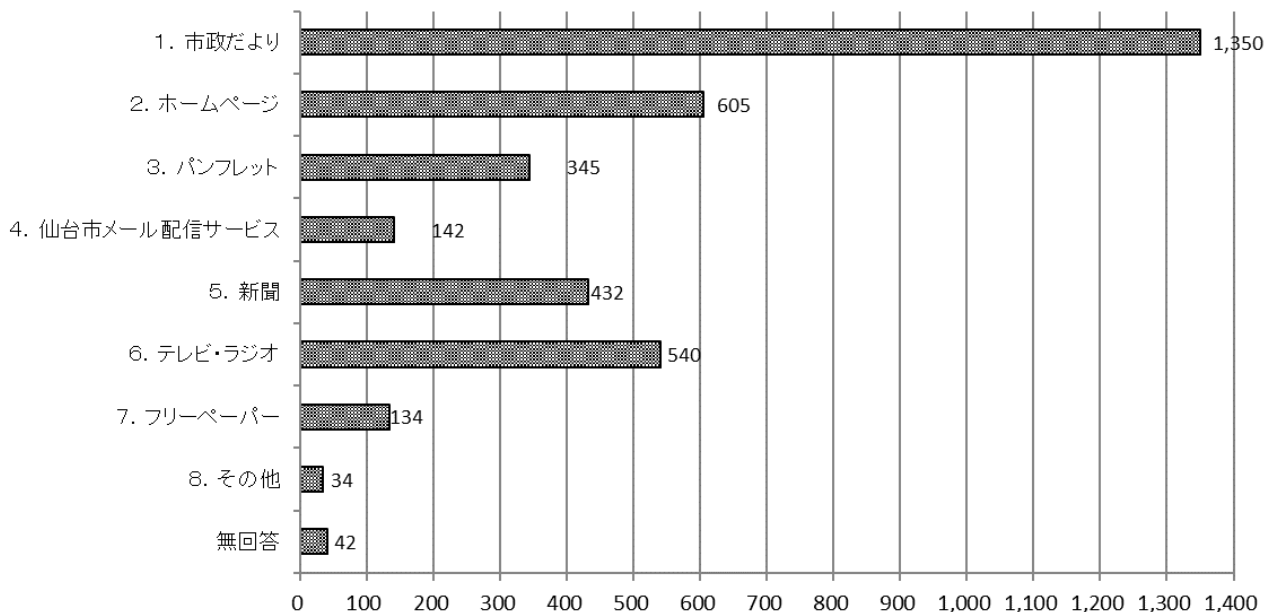


- 年齢別では、70歳以上は、「下水道の役割や下水処理の仕組み、歴史などの事業の概要」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 70歳以上を除く年代で、「浸水被害の軽減対策に関する情報」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 29歳以下は「下水道使用料に関する情報」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 12

あなたは、仙台市の下水道に関する情報について、どのような方法で知らせてほしいですか。(あてはまる番号3つまでに○)

- | | |
|--|------------|
| 1. 市政だより | 5. 新聞 |
| 2. ホームページ | 6. テレビ・ラジオ |
| 3. パンフレット | 7. フリーペーパー |
| 4. 仙台市メール配信サービス(登録された方に必要な情報を電子メールで配信するサービス) | 8. その他() |

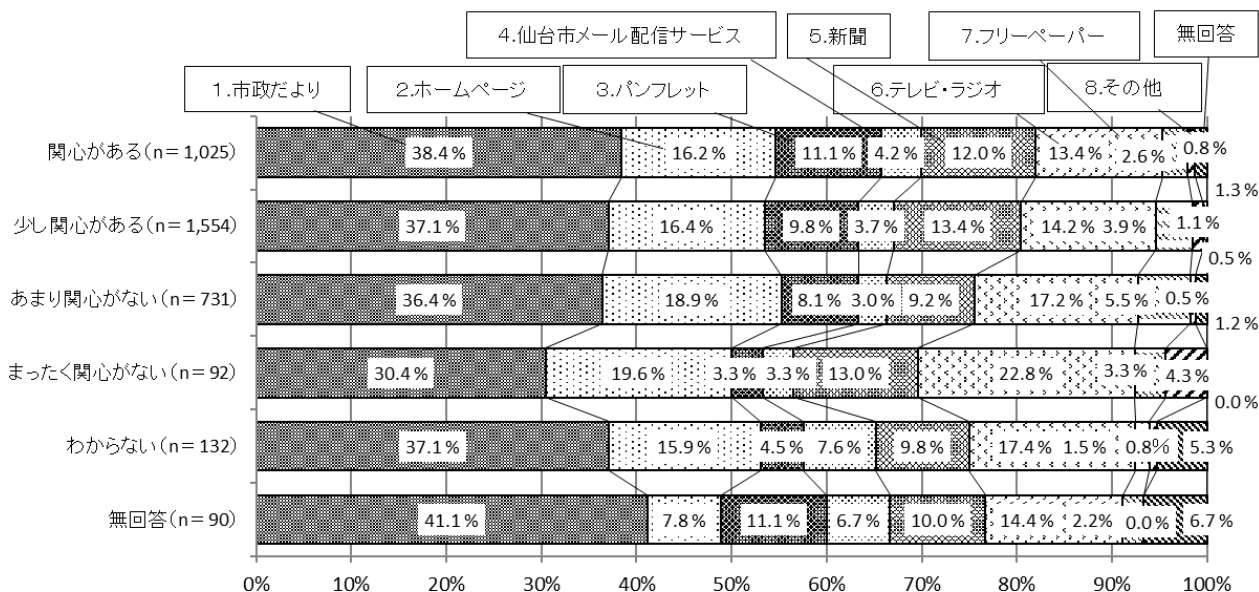


■ 「8. その他」を選択した方の具体的回答

SNS、検針票(水道ご使用水量等のお知らせ)、回覧板など

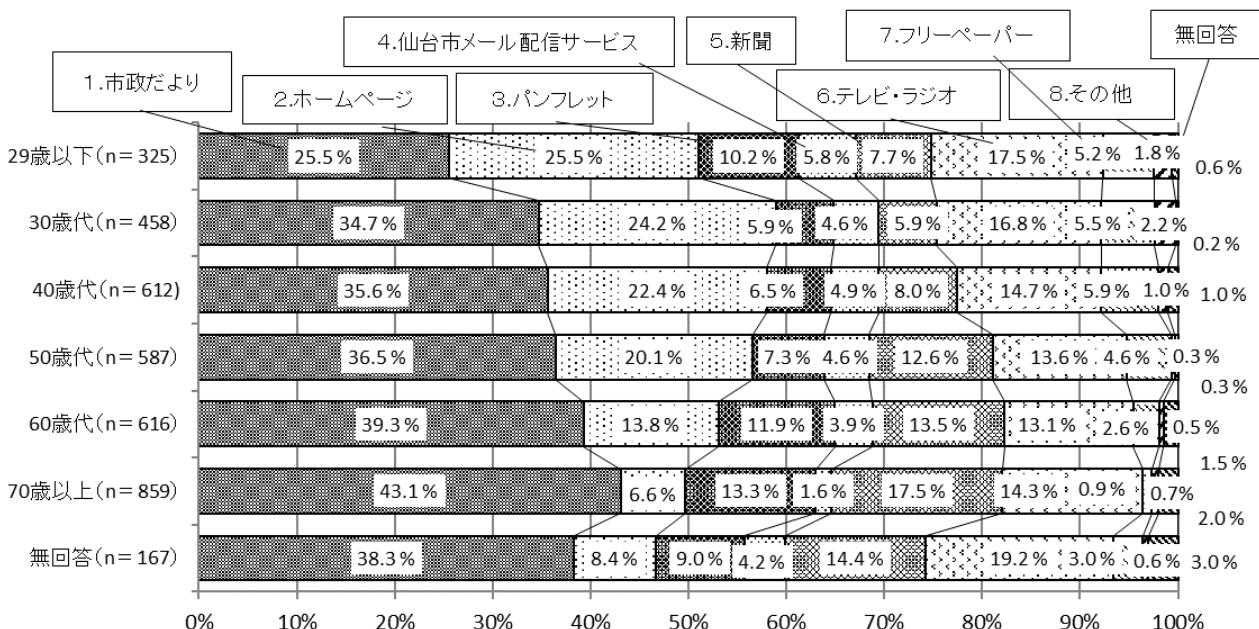
- 「市政だより」に最も多くの回答が寄せられており、ニーズの高い情報発信手段となりました。
- 次いで「ホームページ」に多くの回答が寄せられており、電子媒体による情報発信手段のニーズもありました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「市政だより」「パンフレット」を回答した割合が大きい傾向となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「ホームページ」「テレビ・ラジオ」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<年齢別での集計>

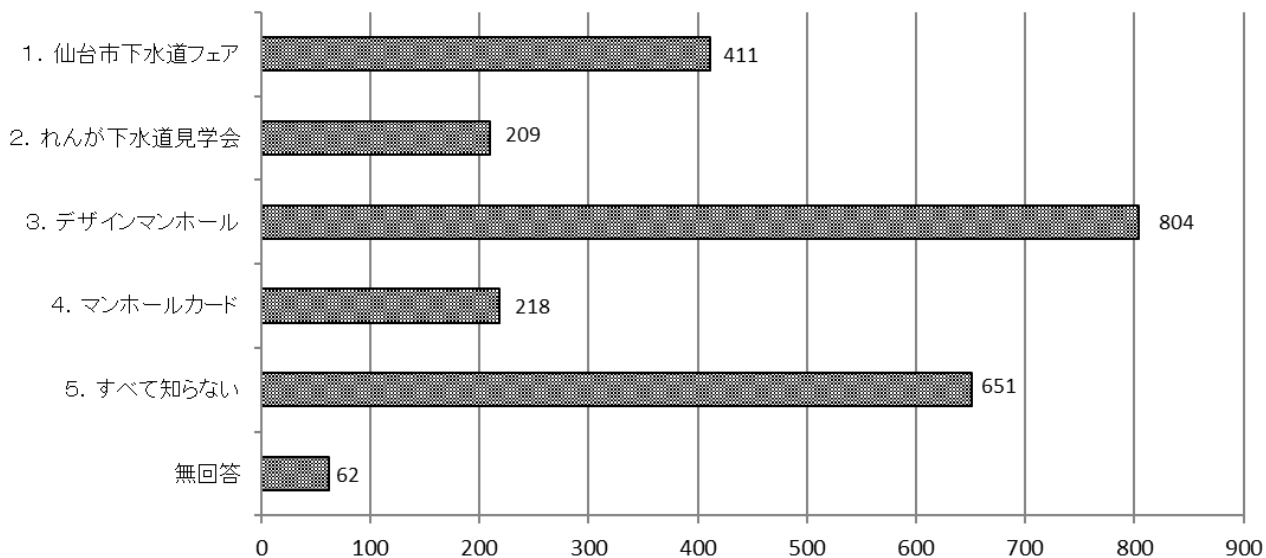


- 年齢別では、年代が高いほど、「市政だより」「パンフレット」「新聞」を回答した割合が大きい傾向となりました。
- 年代が低いほど、「ホームページ」を回答する割合が大きい結果となりました。

問 13

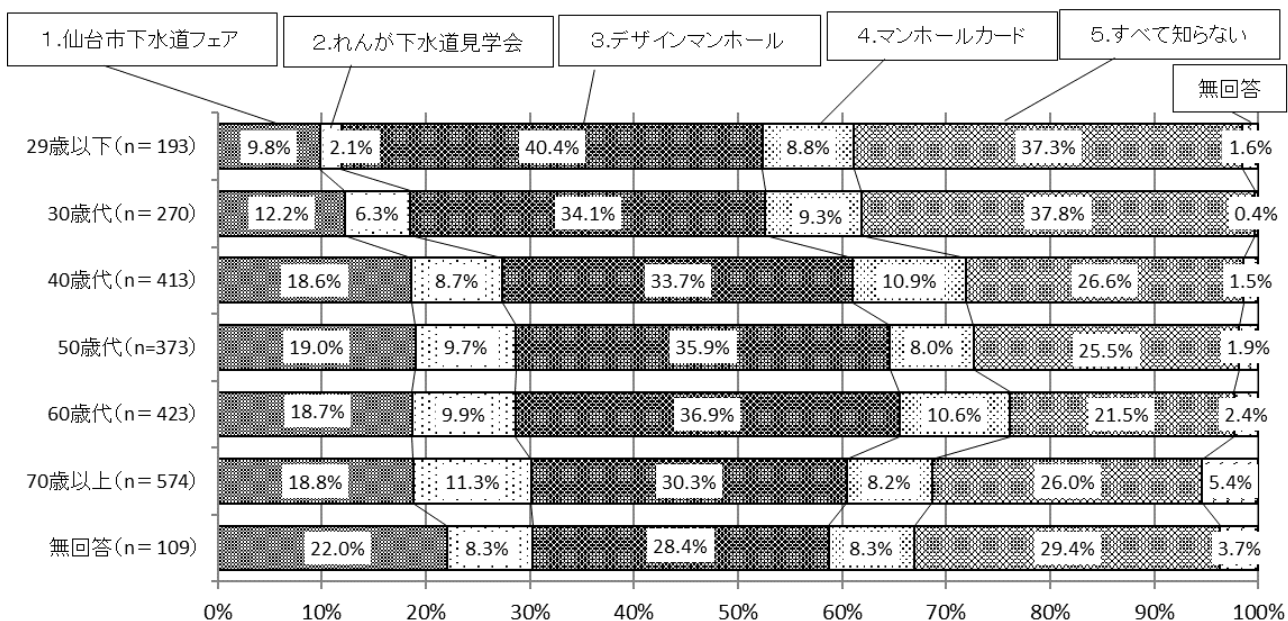
仙台市では、下水道をPRする活動として、主に下の表の取組みを行っています。あなたは、これらの取組みをご存知でしたか。(あてはまる番号すべてに○)

番号	主な取組み	取組内容
1	仙台市下水道フェア	ゲームや実験などを通して下水道について知ることができるイベント。毎年11月に仙台市役所前にて開催
2	れんが下水道見学会	明治時代から使われているれんが造りの下水道管の見学会
3	デザインマンホール	仙台の特色をデザインしたマンホールの設置 (東北楽天ゴールデンイーグルス、八木山動物公園周辺、ベガルタ仙台、映画「ゴールデンランバー」など)
4	マンホールカード	仙台市独自のマンホール蓋をデザインしたカードの配布 (せんだいメディアテーク1階受付で配布しています。)
5	すべて知らない	—



- ▶ 「デザインマンホール」が多くの方に認知されている一方で、「すべて知らない」という回答も多く寄せられました。

<年齢別での集計>

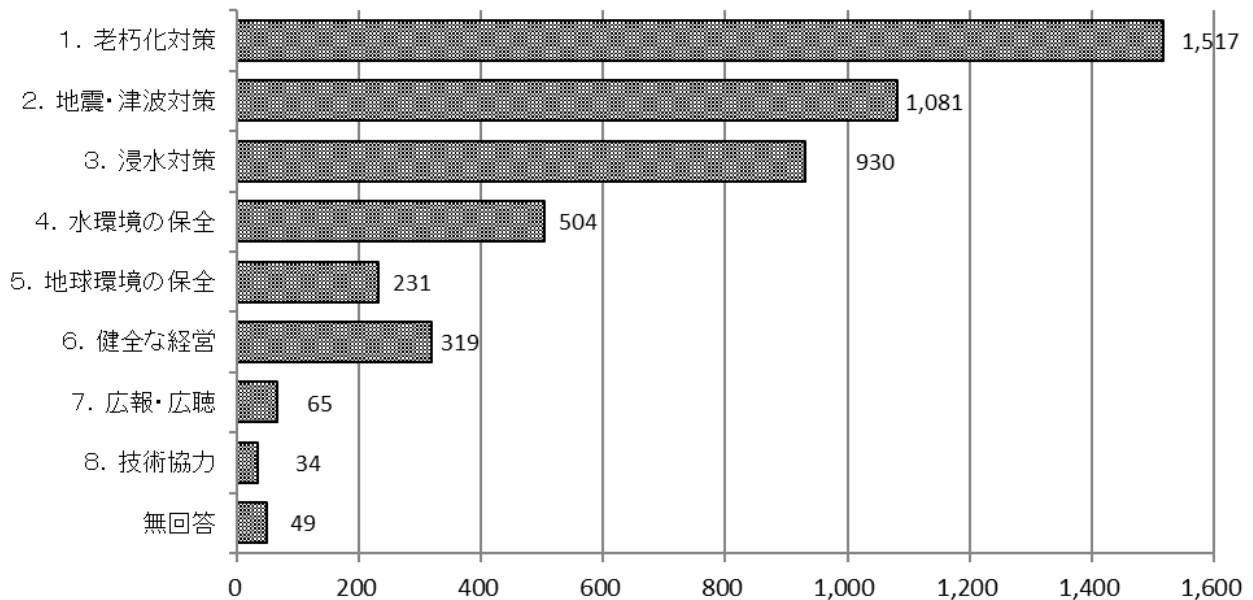


- 年齢別では、40～70歳以上で、「下水道フェア」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 29歳以下は、「デザインマンホール」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 29歳以下、30歳代は、「すべて知らない」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 14

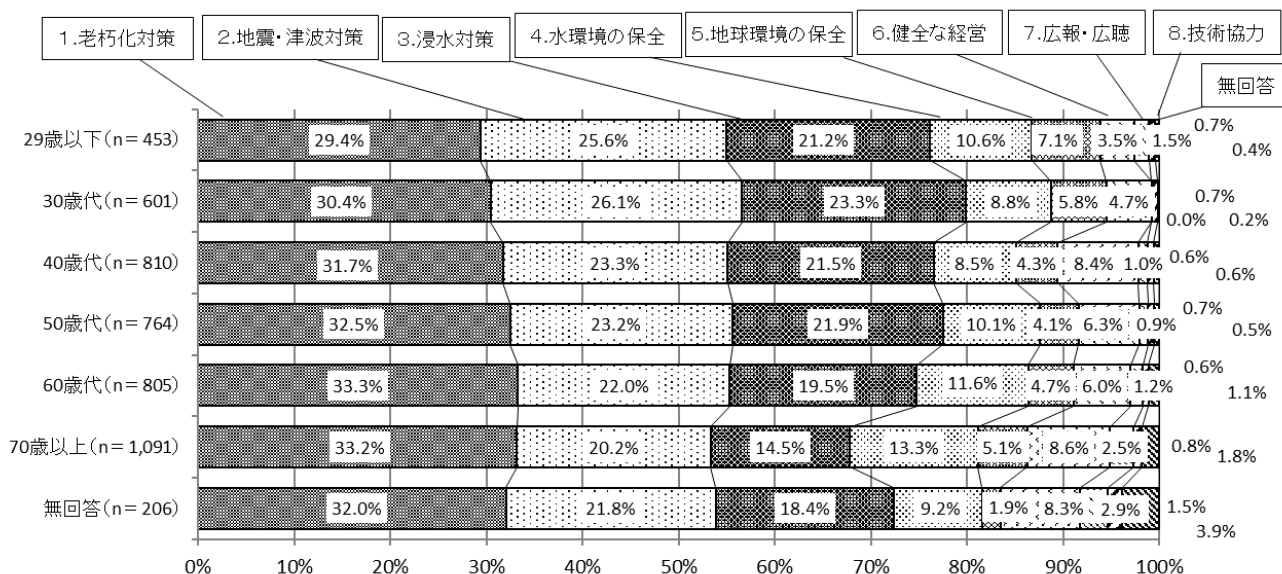
仙台市の下水道では、下の表に示す取組みを実施しています。あなたは、どの取組みを優先的に実施すべきと考えますか。(あてはまる番号3つまでに○)

番号	主な取組み	取組内容
1	老朽化対策	古くなった下水道施設を計画的に修繕・更新する取組み
2	地震・津波対策	地震・津波に強い下水道施設に改良する取組み
3	浸水対策	雨による浸水被害を軽減する取組み
4	水環境の保全	下水を処理し、川や海の水質と景観を守る取組み
5	地球環境の保全	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献する取組み
6	健全な経営	業務改善などにより、安定的で効率的な経営を目指す取組み
7	広報・広聴	下水道情報をお知らせし、皆さまの声をサービスに生かす取組み
8	技術協力	国内外に対し防災・減災などに関する技術支援を行う取組み



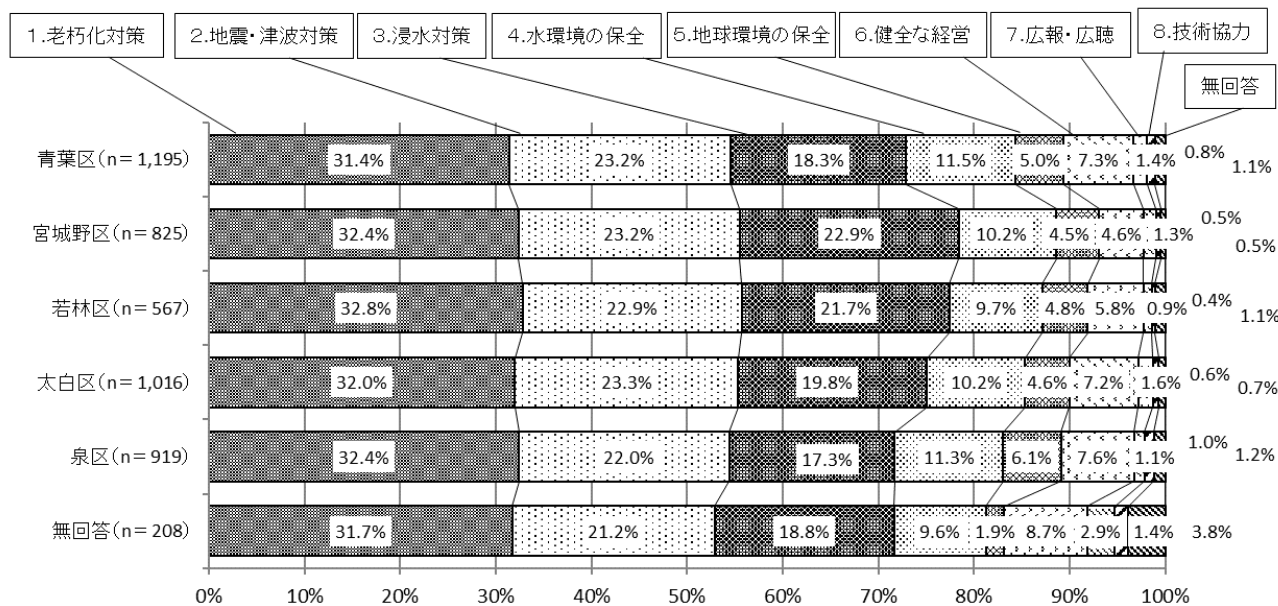
- 「老朽化対策」に最も多くの回答が寄せられ、「地震・津波対策」「浸水対策」が次ぐ結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、すべての年代で「老朽化対策」「地震・津波対策」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 年代が低くなるほど、「浸水対策」を回答した割合が大きい傾向となりました。

<居住区別での集計>

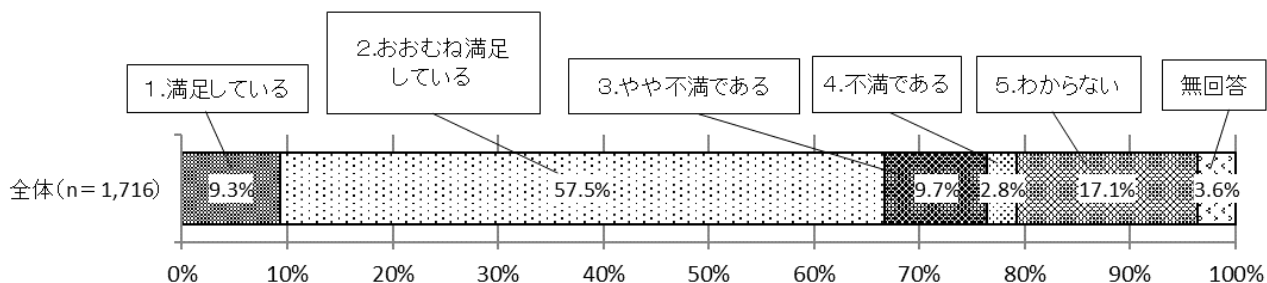


- 居住区別では、すべての区で「老朽化対策」「地震・津波対策」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 宮城野区、若林区で「浸水対策」を回答した割合が大きい結果となりました。

問 15

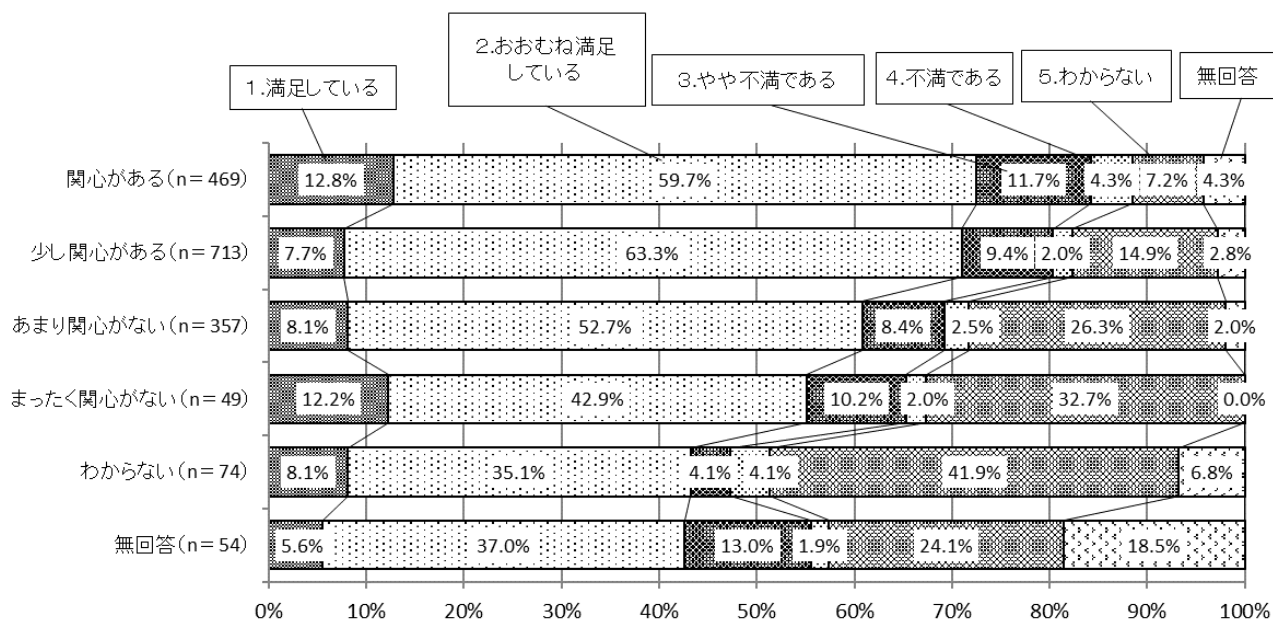
あなたは、仙台市の下水道全般について満足していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 満足している | 3. やや不満である |
| 2. おおむね満足している | 4. 不満である |
| | 5. わからない |



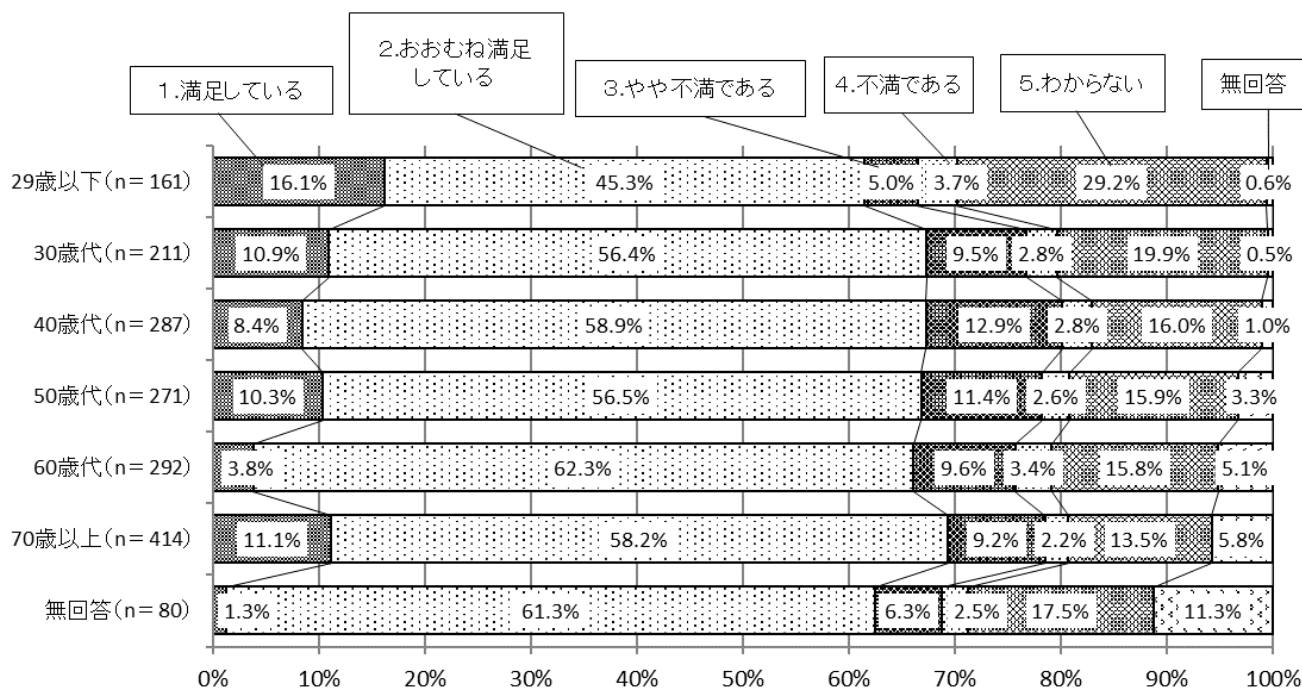
➤ 「満足している」「おおむね満足している」と回答した割合が66.8%となり、6割を超える方に満足いただいている結果となりました。

<問 1 関心の度合い別での集計>



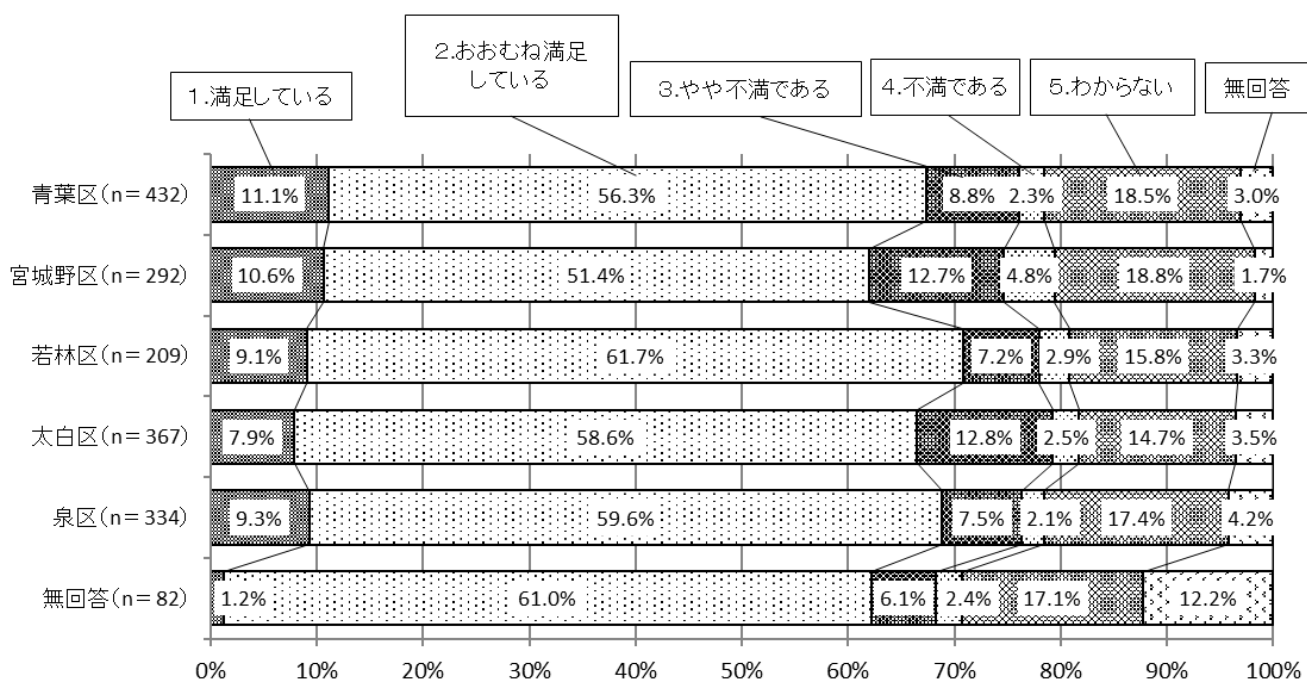
- 関心の度合い別では、関心の度合いが高くなるほど、「満足している」「おおむね満足している」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 関心の度合いが低くなるほど、「わからない」を回答した割合が大きい結果となりました。

<年齢別での集計>



- 年齢別では、年代が高くなるほど、「満足している」「おおむね満足している」を回答した割合が大きい傾向となりました。
- 29歳以下は、「わからない」を回答した割合が大きい結果となりました。

<居住区別での集計>



- 居住区別では、若林区で「満足している」「おおむね満足している」を回答した割合が大きい結果となりました。
- 宮城野区、太白区で「やや不満である」「不満である」を回答した割合が大きい結果となりました。

- そのように感じている理由をご自由にお書きください。

主なご意見など（抜粋）

●下水道の老朽化に関すること

- ・下水道施設の老朽化は放置するほど被害が発生しやすくなるので、費用の確保も含めて計画的に対策を実施すべきである。
- ・他の取組みを縮小してでも老朽化対策を推進してほしい。

●地震・津波対策に関すること

- ・耐震性のある新しい下水道管への交換が終わっていないことに不安を感じる。地震はいつ発生するかわからないため、しっかりと対策を実施すべきである。
- ・東日本大震災時には復旧も早く、震災後も対策を実施しているため、心強く感じている。今後もより災害に強い下水道を願う。

●浸水対策に関すること

- ・側溝に泥が溜まっており、大雨の度に側溝から雨水が溢れている。
- ・今年の台風では、近隣で床上・床下浸水が発生していた。大雨による災害が年々増加しているように思える。
- ・浸水被害にあった際に丁寧に対応してもらった。

●水環境の保全に関すること

- ・海や川を汚さないことは非常に重要である。仙台市は厳しい排水基準を設けており、適切に管理されている。
- ・自らの生活でも生活排水を汚さないよう工夫している。

●広報・広聴に関すること

- ・工事の計画や実施状況、取組みの成果など、市民が満遍なく情報が得られるよう活動内容を発信してほしい。
- ・PR活動として実地見学会があれば参加したい。

●下水道使用料に関すること

- ・どの取組みにどの程度の事業費が費やされているのかわからない。
- ・今後は検針票（水道ご使用量等のお知らせ）を見て、下水道使用料についても確認したい。

●その他

- ・下水道工事の期間が長い。
- ・下水道は新型コロナウイルスなどの感染症対策のためにも重要である。
- ・下水道の詰りへの対応を依頼したところ、迅速で丁寧に対応してもらえた。
- ・日常生活を送るうえで、下水道で困ったことがない。担当者の尽力に感謝している。